Husqvarna









取扱説明書

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。

JA, 日本語

目次

1 はじめに
1.1 サポート....3
1.2 製品の説明....3
1.3 製品の概要....4
1.4 製品に表記されるシンボルマーク....5
1.5 Automower® Connect のマーク....5
1.6 バッテリーに表示されているシンボル....6
1.7 取扱説明書全般....6
1.8 Automower® Connect の設定の構成の概要（1）.7
1.9 Automower® Connect の設定の構成の概要（2）.8
1.10 Automower® Connect の設定の構成の概要（3）（Bluetooth® 短距離圏接続のみ）....9

2 安全性
2.1 安全注意事項....10
2.2 安全性の定義....11
2.3 操作のための安全注意事項....11

3 Installation（設置）
3.1 はじめに - 設置....14
3.2 設置用の主要部品....14
3.3 一般的な準備....14
3.4 ワイヤーを設置する前に....14
3.5 本製品の設置....19
3.6 ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法....21
3.7 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法....21
3.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法....22
3.9 本製品設置後の点検....22
3.10 Automower® Connect....22
3.11 Automower® Connect の設定....24

4 Operation（動作）
4.1 メインスイッチ....31
4.2 開始....31
4.3 動作モード - START....31
4.4 動作モード - Park（駐車）....32
4.5 本製品の停止方法....32
4.6 本製品のスイッチをオフにする方法....32
4.7 Automower® Connect で刈高を調整する方法....33
4.8 バッテリーの充電方法....33

5 メンテナンス
5.1 はじめに - メンテナンス....34
5.2 製品の清掃....34
5.3 ブレードの交換....35
5.4 バッテリー....35
5.5 冬期の保守....35

6 トラブルシューティング
6.1 はじめに - トラブルシューティング....37
6.2 エラーメッセージ....37
6.3 情報メッセージ....43
6.4 チャージステーションの LED インジケータランプ....45
6.5 本製品の LED インジケータランプ....46
6.6 症状....47
6.7 ループワイヤーの損傷を発見....48

7 搬送、保管、廃棄
7.1 搬送....51
7.2 保管....51
7.3 廃棄....51

8 主要諸元
8.1 主要諸元....52
8.2 登録商標....54

9 保証
9.1 保証条件....55

10 日本市場に適用
10.1 コンプライアンス要件....56

1 はじめに

製造番号：
PIN コード：

シリアル番号は本製品の銘板とカートンに記載されています。

- このシリアル番号を使用して、www.husqvarna.com で製品を登録します。

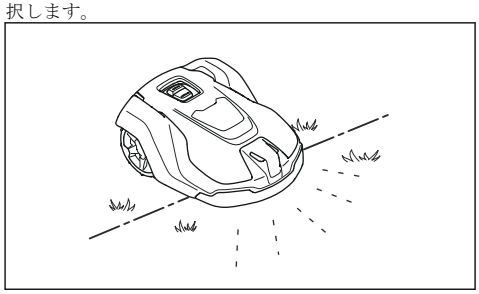
1.1 サポート

本製品のサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

1.2 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。*サポート 3* ページを参照してください。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、芝を自動的に刈り込みます。芝刈りと充電を常に交互に繰り返します。無作為の動作パターンにより、芝を均等に刈るとともに、摩耗を少なくします。 境界ワイヤーとガイドワイヤーで、作業エリア内における製品の動きを制御します。 境界ワイヤーに近づくと、本製品のセンサーがそれを感知します。本製品の前部は、旋回する前に必ず特定の距離だけ境界ワイヤーを通過します。本製品が障害物に衝突したり、境界ワイヤーに接近したりすると、本製品は新しい方向を選択します。



オペレータは Automower® Connect アプリで動作設定を選択します。アプリには、選択した動作設定、可能な動作設定、および本製品の動作モードが表示されます。

1.2.1 芝刈り方法

本製品は、排出ガスがなく、使いやすく、省エネルギーです。頻繁に芝刈りを行うことで、芝の質を向上させ、肥料の使用を減らすことができます。芝を集草する必要はありません。

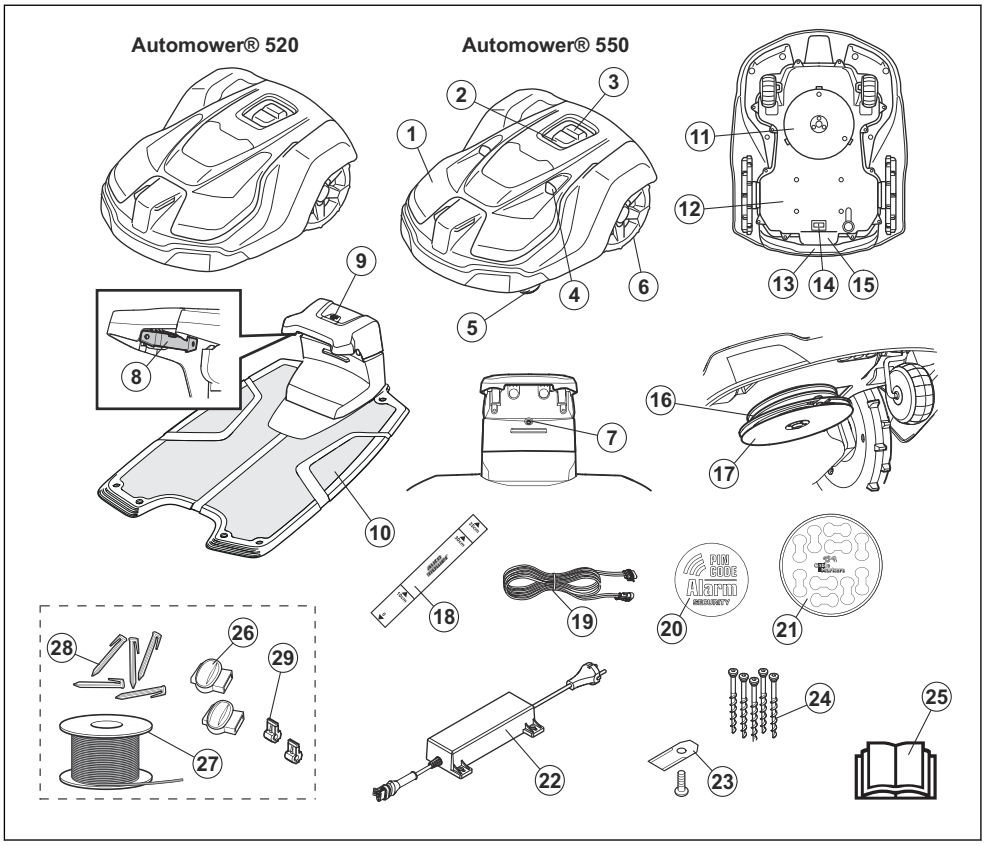
1.2.2 チャージステーションの探索

本製品は、バッテリー残量が少なくなるまで動作したあと、チャージステーションへの移動を開始します。本製品がチャージステーションを見つけるには、以下の 3 つの検索方法があります。*チャージステーションの探索 26* ページを参照してください。

1.2.3 Automower® Connect

Automower® Connect は、動作設定をリモートで選択できるモバイルアプリケーションです。*Automower® Connect（Bluetooth® のみ）29* ページを参照してください。

1.3 製品の概要



図の番号は次の項目に対応しています。

1. 本体
2. 製品の LED インジケータランプ
3. STOP/START ボタン
4. 超音波センサー
5. フロントホイール
6. リヤホイール
7. チャージステーションの LED インジケータランプ
8. コンタクトストリップ
9. 駐車ボタン
10. チャージステーション
11. カッティングシステム
12. 電子部品、バッテリー、モーターが搭載されたシャーシボックス
13. ハンドル
14. メインスイッチ
15. 銘板（製品識別コードを含む）
16. ブレードディスク
17. スキッドプレート
18. 測定ゲージ
19. 低電圧ケーブル
20. 警報デカール
21. ケーブルマーカー
22. 電源 [1]
23. 予備のブレード
24. チャージステーション固定用ネジ
25. 取扱説明書およびクイックガイド
26. ループワイヤーのカプラー [2]

[1] 外観は市場によって異なることがあります
[2] 別売りの設置キットの一部です。

27. 境界ループのループワイヤーとガイドワイヤー [3]
28. ペグ [4]
29. ループワイヤーのコネクター [5]

1.4 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。 しっかりと確認してください。



警告：本製品を使用する前に説明書をお読みください。



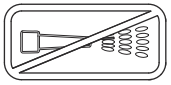
警告：本製品を操作したり、持ち上げたりする前に、本製品をオフにしてください。



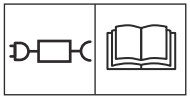
警告：操作時は、本製品から安全な距離を保ってください。回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告：本製品の上に乗らないでください。手や足を本製品に近づけたり、本製品の下に入れたりしないでください。



本製品は高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。



このシンボルの横にある定格ラベルに記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。



この製品は該当する EC 指令に準拠しています。



本製品は、通常の家庭ゴミとして処分することはできません。地域の法的要件に従って製品をリサイクルしてください。



シャーシには、静電放電（ESD）に弱い部品が含まれています。シャーシは、専門的な方法で再度密閉する必要があります。このため、シャーシは、必ず認定サービス技術者が開けるようにしてください。シールが破れていると、製品全体または部品の保証が有効でなくなる可能性があります。



低電圧ケーブルは短くしたり、延長したり、接合したりしないでください。

低電圧ケーブルの近くでトリマーを使用しないでください。 ケーブルの敷設場所で際刈りをする場合は、十分に注意してください。

1.5 Automower® Connect のマーク



スケジュールメニューでは、本製品が芝を刈る時間を設定します。



刈高のメニューでは、使用者が本製品の刈高を設定することができます。



動作メニューでは、動作に関する設定を手動で行います。



設置メニューでは、設定に関する設定を手動で行います。



アクセサリーメニューでは、アクセサリーの設定を行います。



設定メニューでは、本製品の一般的な設定を行います。 （Bluetooth® 短距離接続でのみ使用可能）



セキュリティメニューでは、使用者が 3 つのセキュリティレベルを選べます。（Bluetooth® 短距離接続でのみ使用可能）

[3] 注記 2 を参照
[4] 注記 2 を参照
[5] 注記 2 を参照



Automower® Connect では、使用者が本製品の Automower® Connect モジュールのオンオフを切り替えることができます。（Bluetooth® 短距離接続でのみ使用可能）

1.6 バッテリーに表示されているシンボル



取扱説明書をお読みください。



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。



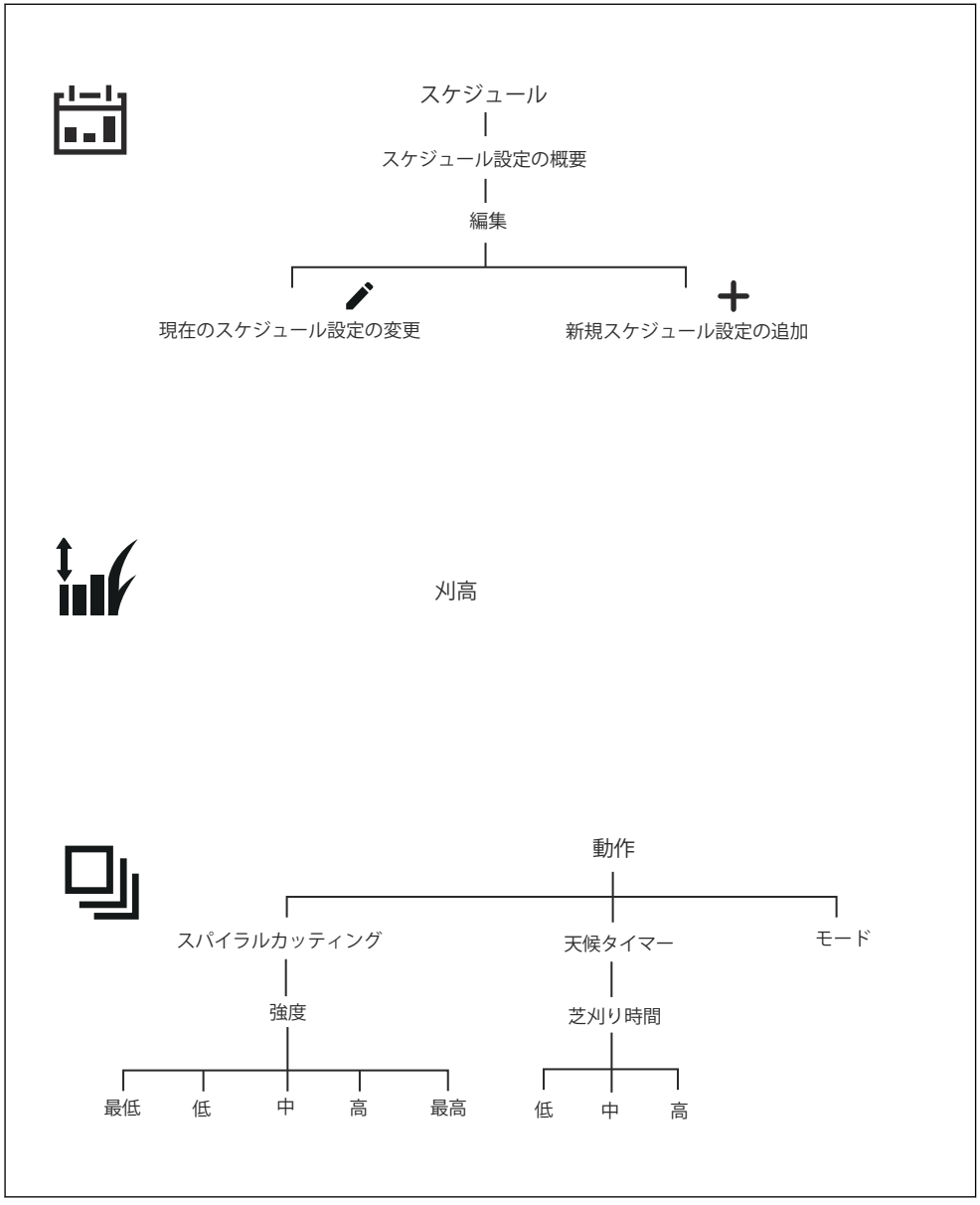
バッテリーは水の中に入れないでください。

1.7 取扱説明書全般

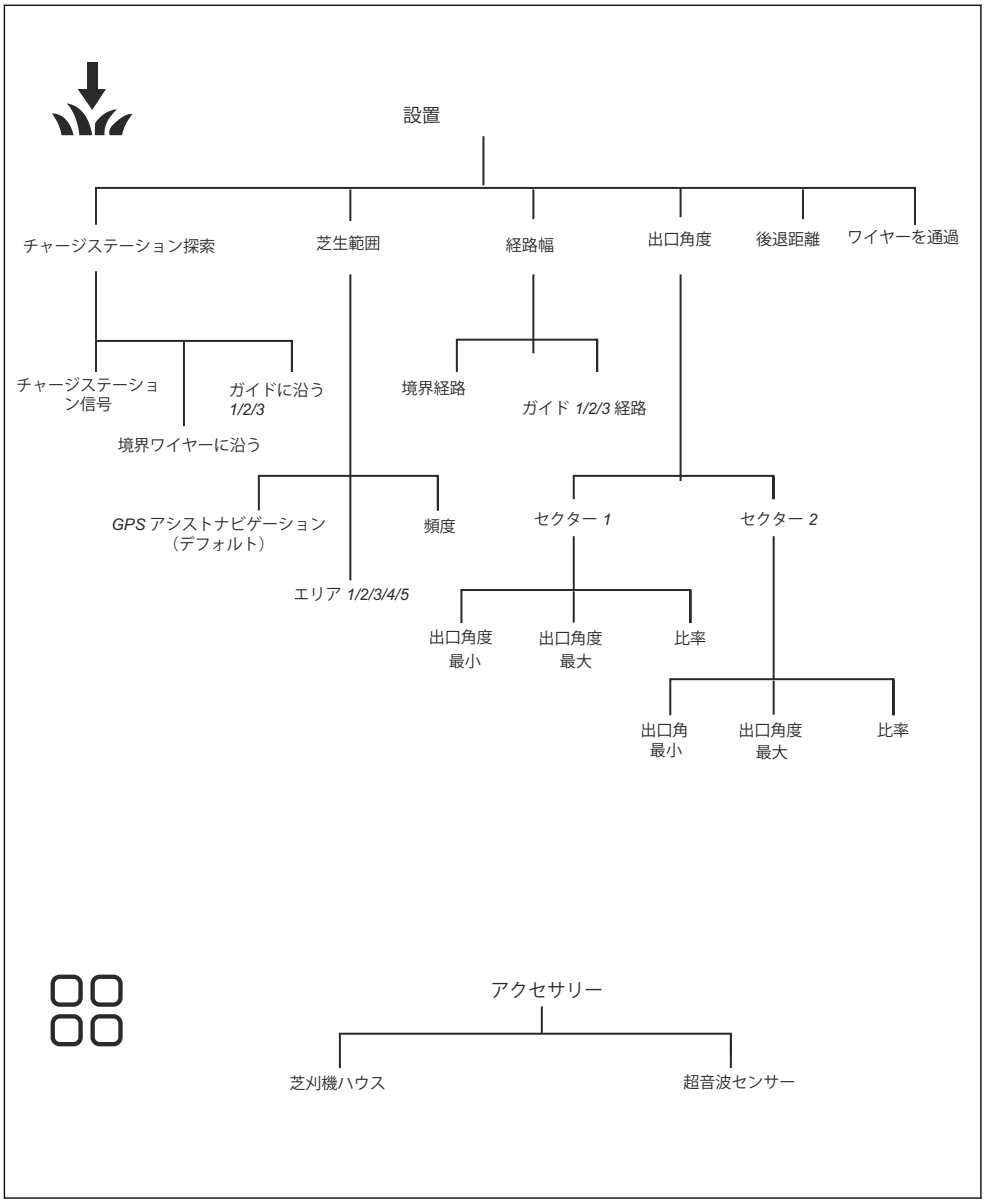
本取扱説明書では、読みやすいように次の表記規則を使用しています。

- *斜体*で記載されたテキストは、Automower® Connect アプリのテキストであるか、取扱説明書の別のセクションを参照していることを示します。
- **太字**のテキストは、本製品または のボタンを示します。

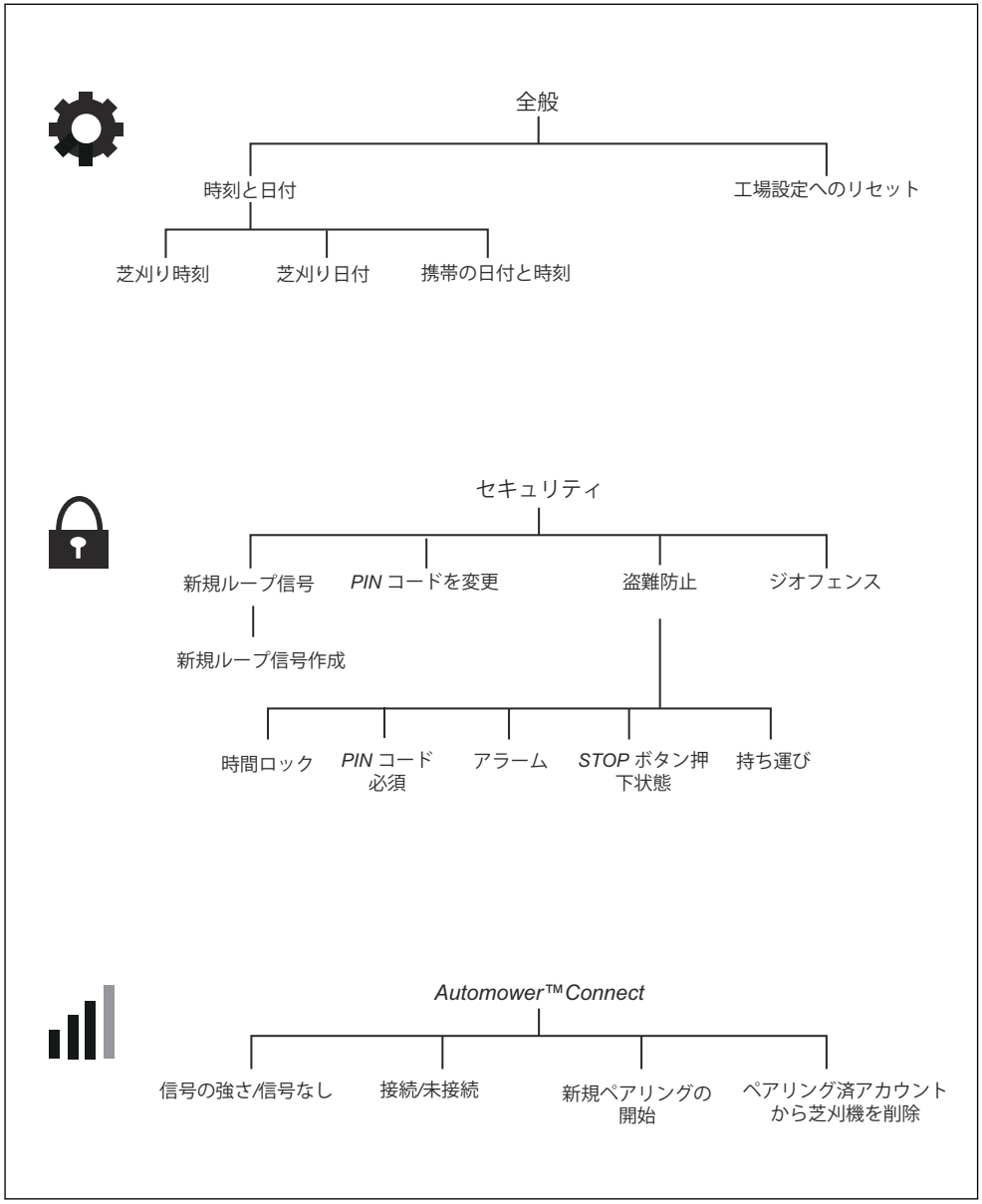
1.8 Automower® Connect の設定の構成の概要（1）



1.9 Automower® Connect の設定の構成の概要（2）



1.10 Automower® Connect の設定の構成の概要（3）（Bluetooth® 短距離囲接続のみ）



2.1 安全注意事項

2.1.1 重要。使用する前によくお読みください。後で参照できるように保管しておいてください。

周囲の人や財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者にあります。

本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人（子供を含む）、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。

本機は、8 才以上の小児、または身体的、知覚的、精神的障害のある方、および経験や知識の浅い方でも、保護者または責任者の監視の下、または本装置の安全な使用に関する説明を受け、起こりうる危険について理解した上で使用することができます。居住地の法規によっては、使用者の年令制限がある場合があります。クリーニングおよびメンテナンスは、保護者による監視のない限り、小児に行わせてはいけません。

プラグやコードが損傷している場合は、電源をコンセントに接続しないでください。コードが摩耗したり絡まったりすると、感電のリスクが高くなります。

バッテリーは付属のチャージステーションでのみ充電してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水／中和剤で洗い流します。目に入った場合は医師の診察を受けてください。

メーカーが推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。

バッテリーを取り外すときは、本機を主電源から取り外す必要があります。

警告： 本製品は、使い方を誤ると危険です。

警告： 人（特にお子様）や動物が作業エリアにいるときには、本製品を決して使用しないでください。

警告： 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。モーターのスイッチがオンの場合は、本製品の近くまたは下に決して手や足を近づけないでください。

警告： 負傷または事故の際には、医師の診察を受けてください。

2.2 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。

警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。

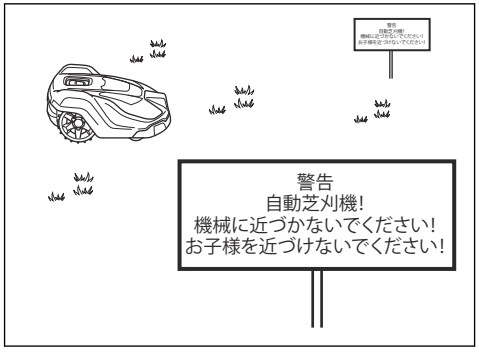
注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

2.3 操作のための安全注意事項

2.3.1 使用

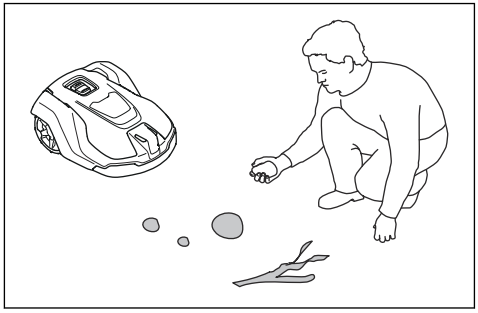
- 本製品には、メーカーから推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。操作／メンテナンスに関するメーカーの指示に正確に従う必要があります。
- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者が行ってください。この取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。すべての変更は自分の責任で行ってください。
- 公共の場所で本製品を使用する場合は、作業エリアに警告標識を設置してください。標識には次のような内容を記載する必要があります。**警告！ロボット芝刈機！機械に近づかないでください！お子様を近づけないでください！**



- 人、特にお子様やペットなどが作業エリアにいるときは、*動作モード - Park（駐車）* *32* *ページ*を参照するか、本製品のスイッチをオフにしてください。*本製品のスイッチをオフにする方法* *32* *ページ*を参照してください。作業エリアに人がいない時間帯に本製品を使用するようにプログラムすることをお勧めします。 ハリネズミなどの夜行性動物の活動も考慮してください。これらの動物が、本製品によって傷つけられるおそれがあります。

Schedule（スケジュール）24 ページを参照してください。

- チャージステーションおよびアクセサリーは、可燃物から 60 cm（24 インチ）以内の場所には設置しないでください。 電源装置は、可燃性の高い環境に設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードに異物が当たると、ブレードが損傷する可能性があります。詰まった物を取り除く前に、必ず本製品のスイッチをオフにしてください。本製品を再始動する前に、本製品に損傷がないか点検してください。*本製品のスイッチをオフにする方法 32* ページを参照してください。



- 本製品が異常に振動し始めた場合。本製品を始動する前に、必ず本製品の電源を切り、損傷がないかどうかを点検してください。*本製品のスイッチをオフにする方法 32* ページを参照してください。
- 説明書に従って本製品のスイッチをオンにしてください。本製品のスイッチがオンになっている場合、回転しているブレードに手や足を近づけないでください。手や足を本製品の下に入れないでください。
- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険部品には触らないでください。
- スイッチがオンになっている際は、本製品を持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。
- 本製品が人や他の生き物と衝突することがあってはなりません。 人や他の動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止する必要があります。*本製品の停止方法 32* ページを参照してください。
- 本製品やチャージステーションの上に物を置かないでください。
- ガード、ブレードディスクまたは本体に不具合がある場合は、本製品を使用しないでください。ブレード、ネジ、ナット、またはケーブルに不具合がある芝刈機も使用しないでください。電源から切断する前に、破損したケーブルを接続したり、破損したケーブルに触れたりしないでください。
- **[STOP]** ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 使用しないときは本製品のスイッチをオフにしておいてください。本製品は、正しい PIN コードが入力された場合にのみ始動できます。
- 本製品とスプリンクラーを同時に使用しないでください。本製品とスプリンクラーが同時に動作しないよう、*[Schedule（スケジュール）]* 機能を使用してください。*Schedule（スケジュール）24* ページを参照してください。
- Husqvarna は、リモコン、無線送信機、ヒアリングループ、地下の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。
- 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- 地面に金属製の物体（例：鉄筋コンクリートやモグラ防護ネット）があると停止の原因になります。金属製の物体は、ループ信号に干渉し、停止の原因になります。
- 動作温度および保管温度は 0～50 °C / 32～122 °F です。充電の温度範囲は 0～45 °C / 32～113 °F です。温度が高すぎると、本製品が損傷するおそれがあります。

2.3.2 バッテリーの安全

警告： リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。 慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電気的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。

バッテリーの詳細については *主要諸元 52 ページ*

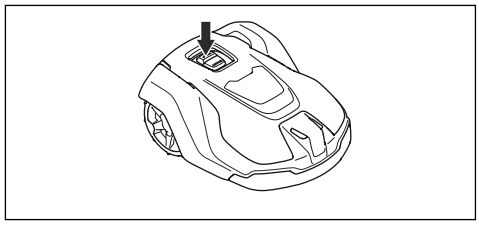
2.3.3 本製品の持ち上げおよび移動方法

警告： 本製品を持ち上げる前に、本製品のスイッチをオフにする必要があります。**メインスイッチ**が *[0]* の位置にある場合、本製品は無効になります。

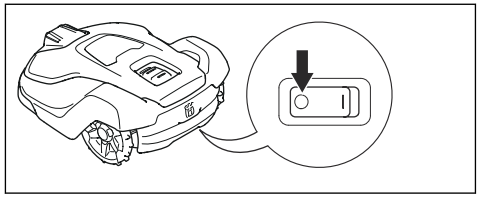
注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品を損傷するおそれがあります。**[STOP]** を押して本製品をチャージステーションから引き出してから持ち上げてください。

作業エリアから、または作業エリア内で安全に移動するには：

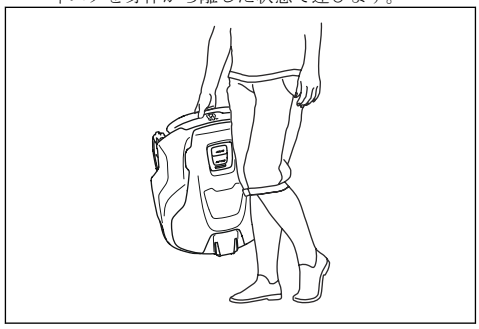
1. **[STOP]** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. メインスイッチを *[0]* の位置にセットします。



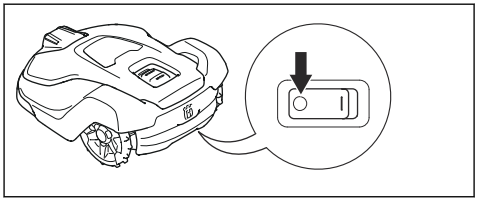
3. 本製品を運ぶ場合は、ハンドルを持ってブレードディスクを身体から離した状態で運びます。



2.3.4 メンテナンス

警告： 本製品を上下さかさまにする場合は、メインスイッチを常に *[0]* の位置にしておく必要があります。

ブレードの洗浄や交換など、本製品のシャーシを取り扱う前に、メインスイッチを *[0]* の位置にしてください。

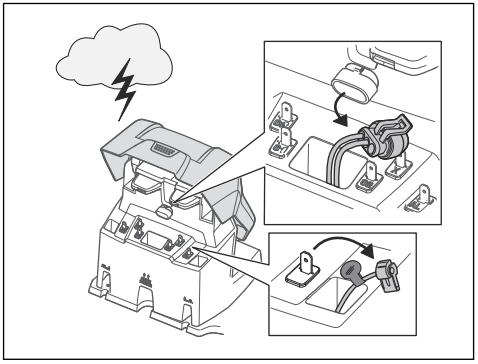


注意： 本製品は高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。清掃には、決して溶剤を使用しないでください。

注意： チャージステーションやループワイヤーに対して清掃やメンテナンスを行う前には、プラグを使用してチャージステーションの接続を外してください。

本製品は毎週点検し、損傷または摩耗した部品は交換してください。*メンテナンス 34* ページを参照してください。

2.3.5 雷雨の場合



本製品およびチャージステーションの電気装置を損傷するリスクを減らすため、雷雨の危険がある場合は、チャージステーションのすべての接続（電源、境界ワイヤー、ガイドワイヤー）を外すことをお勧めします。

1. 再接続を容易にするため、ワイヤーに印を付けておいてください。チャージステーションの接続は AR、AL、G1/G2/G3 と表示されます。
2. すべての接続されているワイヤーと電源を取り外します。
3. 落雷の危険がなくなったら、すべてのワイヤーと電源を接続します。各ワイヤーを正しい場所に接続することが重要です。

3 Installation（設置）

3.1 はじめに - 設置

警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

Automower® 550 には、1 つの設置場所で 2～3 台の製品を使用できる Automower® Club Solution ソリューションが搭載されています。*Automower® Club Solution19* ページを参照してください。

3.2 設置用の主要部品

設置には次の部品が必要です。

- 芝生を自動的に刈るロボット芝刈機。
- チャージステーションには、次の 3 種類の機能があります。
    - 境界ワイヤーに沿って制御信号を送信します。
    - ガイドワイヤーに沿って制御信号を送信することで、本製品がガイドに従って庭の特定の離れた場所まで移動し、そこからチャージステーションまで戻る道のりがわかるようにします。
    - 本製品を充電します。
- チャージステーションおよび 100V～240V コンセントと接続した電源。
- ループワイヤーは、作業エリアや、物体や樹木の周りなど、本製品が避けるべき場所に敷設します。ループワイヤーは、境界ワイヤーとガイドワイヤーの両方に使用されます。

3.3 一般的な準備

注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。

注記： 設置を始める前に、設置の章をよくお読みください。設置の仕方は、製品の性能に影響します。したがって、設置を慎重に計画することが重要です。

- 作業エリアの設置図を作成し、すべての障害物を記入します。これにより、チャージステーション、境界ワイヤー、ガイド用ワイヤーの理想的な位置が簡単にわかります。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーの設置場所を、この設置図に記入します。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所を、設置図に記入します。 *ガイドワイヤーを取り付ける方法 21 ページ*を参照してください。
- 芝生内にある穴を埋めておきます。
- 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 10 cm / 4 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間は、芝を刈るときに感じられる騒音レベルが、予想よりも高くなる可能性があります。本製品が芝をしばらく刈り続けると、感じられる騒音レベルは大幅に低下します。

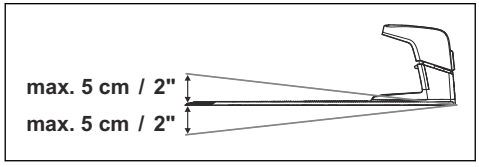
3.4 ワイヤーを設置する前に

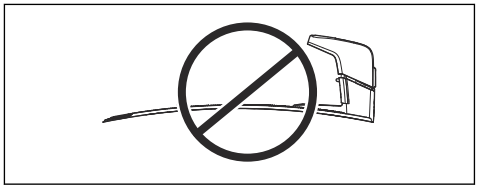
ワイヤーの設置には、ペグを使用するか、または地中に埋めるか、どちらかの方法を選択することができます。同じ作業エリア内で、2 種類の方法を使用することもできます。

注意： 作業エリアでデサッチャーを使用する場合は、境界ワイヤーとガイドワイヤーの損傷を避けるためにワイヤーを地下に埋設してください。

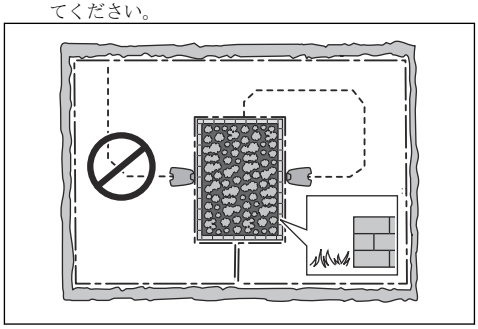
3.4.1 チャージステーションの設置場所について

- チャージステーションの前には、2 m / 7 フィート以上の空きスペースを確保してください。*ガイドワイヤーの敷設場所について 18 ページ*を参照してください。
- チャージステーション中央から左右に 150 cm / 60 インチ以上の空きスペースを確保してください。
- チャージステーションは、電源コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。





- 作業エリアが急勾配の斜面により 2 つのセクションに分割されている場合は、低い方のセクションにチャージステーションを設置することをお勧めします。
- チャージステーションは、日光から保護されている場所に設置してください。
- チャージステーションをアイランドに設置する場合は、ガイドワイヤーをアイランドに接続してください。*アイランドを作る方法 17* ページを参照してください。

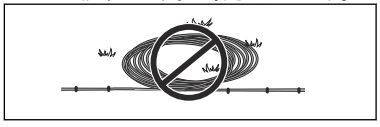


3.4.2 電源装置の取り付け場所について

警告： 低電圧ケーブルを切断したり延長したりしないでください。感電の危険があります。

注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。

注意： 低電圧ケーブルをコイル内やチャージステーションプレートの下に置かないでください。コイルはチャージステーションからの信号との干渉を引き起こします。



- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器（RCD）を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリーとして用意されています。

3.4.3 境界ワイヤーの敷設場所について

注意： 境界ワイヤーと水域、斜面、崖、または公道の間に 15 cm/6 インチ以上の保護壁を設ける必要があります。これは本製品の損傷を防ぐためです。

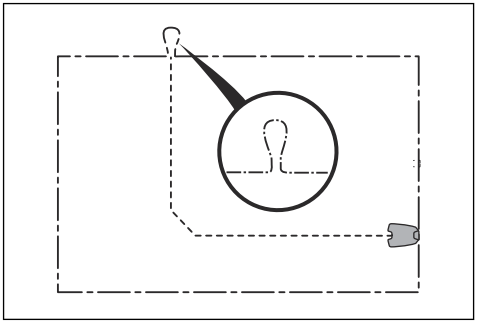
注意： 本製品は、砂利の上では使用しないでください。

注意： 境界ワイヤーを取り付けるときに、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。

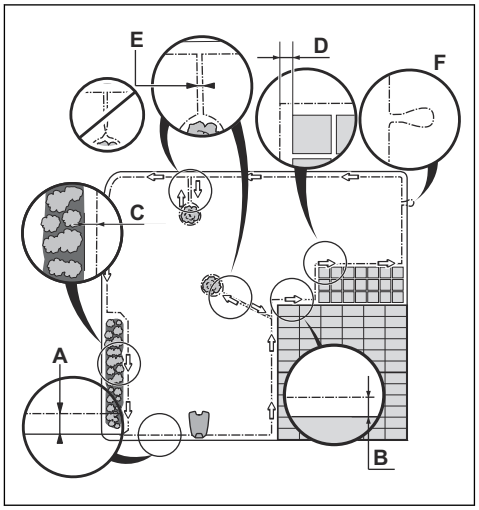
注意： 動作時に異音が発生しないようにするには、樹木や根、石などの障害物をすべて取り除いておいてください。

境界ワイヤーは作業エリアをひと続きに囲むように敷設する必要があります。本製品が境界ワイヤーに近づいたことをセンサーが感知すると、本製品は別の方向を選択します。作業エリアのすべての部分は境界ワイヤーから 35 m/115 フィート以内でなければなりません。

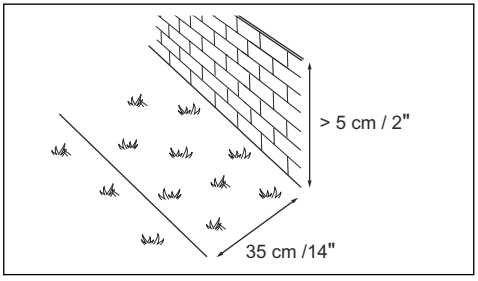
ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を容易にするため、ガイドワイヤーを接続する場所にアイレットを設置することをお勧めします。境界ワイヤーの約 20 cm / 8 インチにアイレットを設置します。



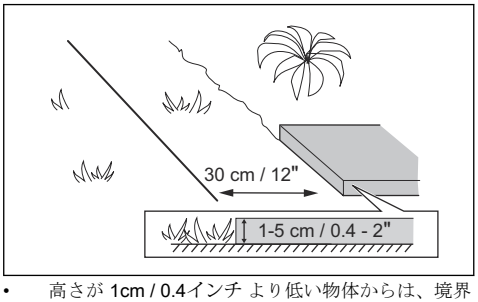
注記： 境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設する前に、作業エリアの設置図を作成してください。



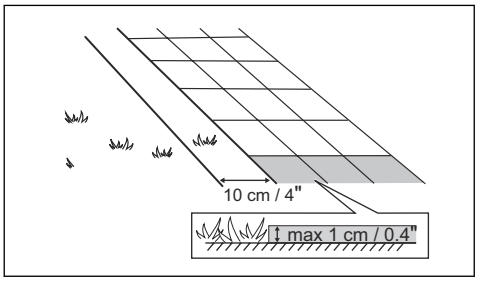
- 境界ワイヤーを作業エリア全体（A）の周囲に敷設します。境界ワイヤーと各障害物との距離を調整します。
- 高さが 5 cm /2インチ より高い物体からは、境界ワイヤーを 35 cm /14 インチ（B）離してください。



- 高さが 1-5 cm / 0.4-2インチ の物体からは、境界ワイヤーを35 cm /14インチ（C）離してください。



- 高さが 1cm / 0.4インチ より低い物体からは、境界ワイヤ ーを 10 cm / 4 インチ（D）離してください。



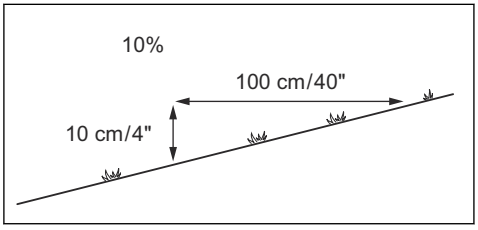
- 芝生と同じ高さの舗装石道がある場合は、境界ワイヤーを舗装石の下に敷設してください。

注記： 舗装石の幅が 30 cm / 12 インチ以上ある場合に、舗装石に隣接する芝をすべて刈るには、*Drive Past Wire（ワイヤーを通過）* 機能に工場出荷時の設定を使用してください。*ワイヤー通過運転 28* ページを参照してください。

- アイランドを作る場合は、アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本を近い位置（E）に敷設してください。この 2 本のワイヤーは、同じペグに入れてください。*アイランドを作る方法 17* ページを参照してください。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所に、アイレット（F）を作成します。

3.4.3.1 境界ワイヤーを斜面に設置する方法

本製品は 45%斜面でも動作します。急すぎる斜面は、境界ワイヤーで隔離する必要があります。勾配（%）は、メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



- 作業エリア内の 45% 以上の勾配は、周囲に境界ワイヤーを設置して隔離する必要があります。
- 芝生の外側の勾配が 15% を超える場合は、縁から 20 cm（8 インチ）（A）の位置に境界ワイヤーを設置します。
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁に 15 cm/6 インチ以上の保護壁を設置してください。壁またはフェンスを保護壁として使用することができます。

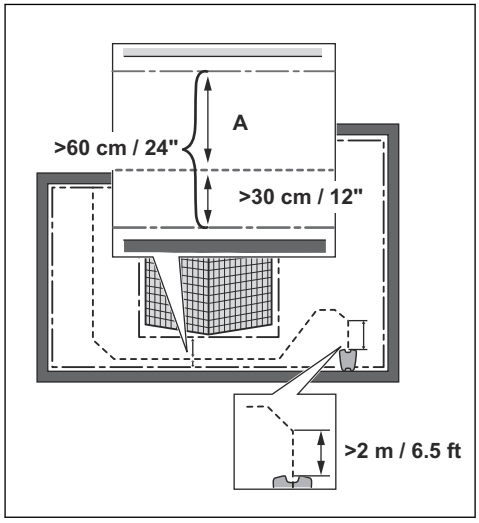
3.4.3.2 経路

経路とは、2 つの作業エリアを接続する、両側に境界ワイヤーが設けられたセクションです。経路の両側の境界

ワイヤーの距離は 60 cm/24 インチ以上空ける必要があります。

注記： 経路の幅が 2 m/6.5 フィート未満の場合は、その経路内にガイドワイヤーを通してください。

ガイドワイヤーと境界ワイヤーは、30 cm/12 インチ以上空けることを推奨します。本製品は、常にチャージステーションに向かって左側のガイドワイヤーに沿って移動します。ガイドワイヤーの左側（A）にできるだけ多くの空きスペースを設けてください。

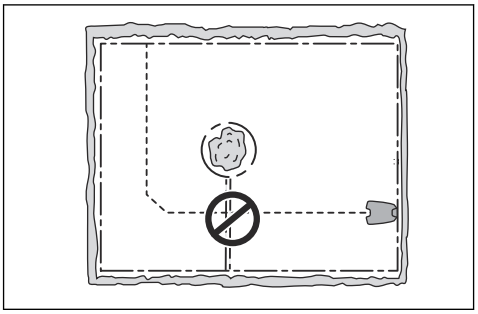


3.4.3.3 アイランドを作る方法

注意： 境界ワイヤー同士を交差させないでください。2 本の境界ワイヤーは平行でなければなりません。

注意： ガイドワイヤーと境界ワイヤーを交差させないでください。

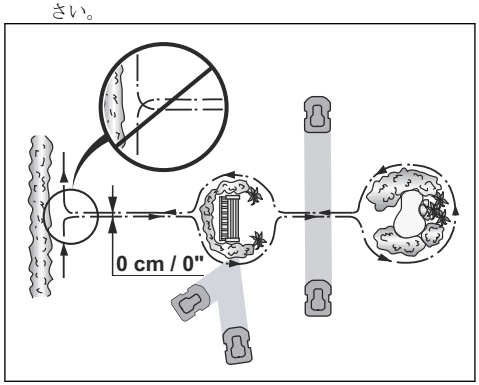
注意： 高さ 15 cm/5.9 インチ未満の障害物を隔離するか、取り除いてください。石、木、木の根など、わずかに傾斜している障害物を隔離するか、取り除いてください。これは本製品のブレードの損傷を防ぐためです。



アイランドを作るには、境界ワイヤーで作業エリアの一部を隔離します。作業エリア内のすべての障害物を隔離することをお勧めします。

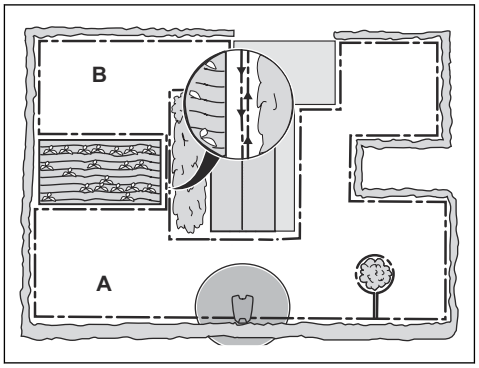
高さ 15 cm/5.9 インチ以上の木や茂みなど、一部の障害物は衝突に耐えます。本製品はこのような障害物に衝突して新しい方向を選択します。

- 障害物の周りに境界ワイヤーを敷設して、アイランドを作ります。
- アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本は、互いに近づけて設置してください。これにより、本製品はワイヤーを横断します。
- この 2 本の境界ワイヤーは、同じペグに入れてください。



3.4.3.4 セカンダリエリアを作成する方法

作業エリアに、経路でつながっていない 2 つのエリアがある場合は、セカンダリエリア（B）を作成します。チャージステーションのある作業エリアが、メインエリア（A）です。



注記： メインエリアとセカンダリエリア間は、本製品を手動で移動させる必要があります。

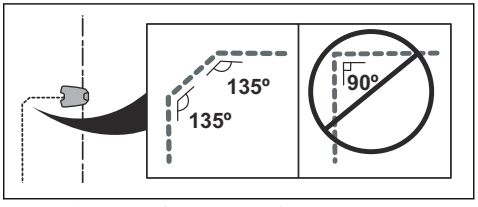
- 境界ワイヤーをセカンダリエリア（B）の周りに敷設して、アイランドを作ります。*アイランドを作る方法 17* ページを参照してください。

注記： 境界ワイヤーは作業エリア全体（A + B）をひとつのループとして囲むように敷設する必要があります。

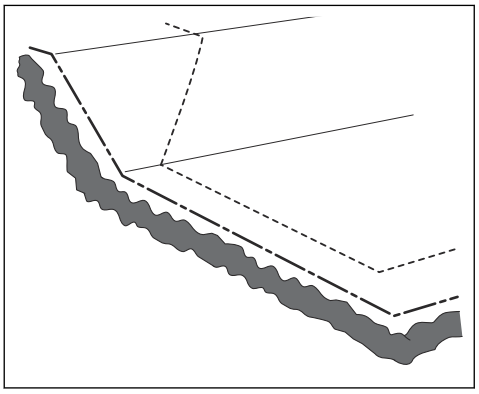
注記： セカンダリエリアで芝を刈る場合は、*[Secondary area（セカンダリエリア）]* モードを選択する必要があります。*動作モード - START31* ページを参照してください。

3.4.4 ガイドワイヤーの敷設場所について

- チャージステーションの前から最低 2 m / 7 フィート空けて、ガイドワイヤーをまっすぐに敷設します。
- チャージステーションの正面から見たときのガイドワイヤーの左側に、できるだけ広くスペースを取ってください。*チャージステーションの設置場所について 14* ページを参照してください。
- ガイドワイヤーは、境界ワイヤーから 30 cm / 12 インチ以上離してください。
- ガイドワイヤーを取り付けるときは、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。

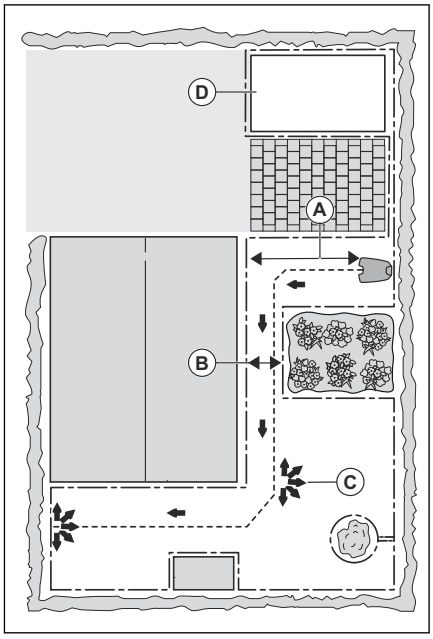


- 作業エリアに斜面がある場合は、ガイドワイヤーを斜面の対角線に配置します。



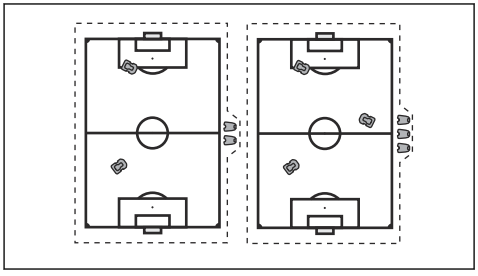
3.4.5 作業エリアの例

- チャージステーションが狭いエリア（A）に設置されている場合は、チャージステーションの前から境界ワイヤーまでの距離が 3 m / 10 フィート以上あることを確認してください。
- 作業エリアにガイドワイヤーを敷設していない経路（B）がある場合は、境界ワイヤーの距離を 2 m/ 6.5 フィート以上空けることをお勧めします。経路にガイドワイヤーが敷設されている場合は、境界ワイヤーの距離を 60 cm/24 インチ以上空けることをお勧めします。
- 狭い通路（B）でつながったエリアが作業エリアにある場合は、最初はガイドワイヤーに沿い、一定の距離（C）を通過したらガイドワイヤーから離れるように本製品を設定できます。設定は*芝生範囲 26* ページで変更できます。
- 本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、運転の最適化に役立ちます。*芝生範囲 26* ページを参照してください。
- 作業領域にセカンダリエリア（D）が含まれている場合は、*セカンダリエリア 32* ページを参照してください。本製品をセカンダリエリアに置き、*[Secondary area（セカンダリエリア）]* モードを選択します。

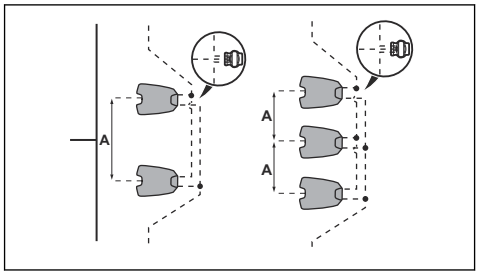


3.4.6 Automower® Club Solution

Automower® Club Solution により、1 つの設置場所で 2 ～3 台の製品を使用することができます。 これには、製品内の特別な設定が必要です。また、境界ワイヤーおよびチャージステーションの設置も異なります。Automower® Club Solution を使用するには、最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。



境界ワイヤーとチャージステーションは並行して設置しなければなりません。チャージステーション間の推奨距離（A）は 5 m/16 フィートです。作業エリアの最大幅は 70 m/230 フィートです。



Automower® Club Solution 設定を使用する場合の変更点は次のとおりです。

- 本製品は、チャージステーションの信号を使用するか、境界ワイヤーを時計方向にたどることでチャージステーションを探します。
- ガイドケーブルは使用できません。
- **Park（駐車）**ボタンは使用できません。
- ブレードディスクの速度と騒音レベルが上がります。

3.5 本製品の設置

3.5.1 設置ツール

- ハンマー／プラスチックハンマー：杭を簡単に地面に打ち込むことができます。
- エッジカッター／まっすぐな鋤：境界ワイヤーを埋設します。
- コンビネーションプライヤー：境界ワイヤーを切断し、コネクターを圧着します。
- アジャスタブルプライヤー：カプラーを圧着します。

3.5.2 チャージステーションを設置する方法

警告： 電気的安全性に関する各国の規制に従ってください。

警告： 本製品は、必ず Husqvarna が提供する電源を使用してください。

警告： 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。

警告： 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。

警告： 感電のおそれがあります。電源装置を壁コンセントに接続する際は、必ずトリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器（RCD）を使用してください。米国／カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合：感電のおそれがあります。必ずアタッチメントプラグキャップを抜き差しできる耐候性のエンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル（RCD）に取り付けてください。

注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。

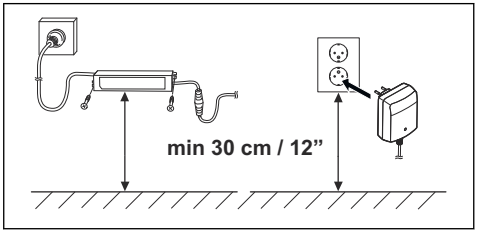
注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。

警告： ケーブルの損傷を防ぐため、電源ケーブルと延長ケーブルは作業エリアの外に置く必要があります。

電源を接続する場合は、漏電遮断器（RCD）に接続されたコンセントのみを使用してください。

1. チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。*チャージステーションの設置場所について 14* ページを参照してください。
2. 選択した場所にチャージステーションを置きます。

   注記： ガイドワイヤーを敷設するまでは、ネジを使用してチャージステーションを地面に固定しないでください。*ガイドワイヤーを取り付ける方法 21* ページを参照してください。
3. 低電圧ケーブルをチャージステーションに接続します。
4. 電源装置を 30 cm / 12 インチ以上の高さに置きます。



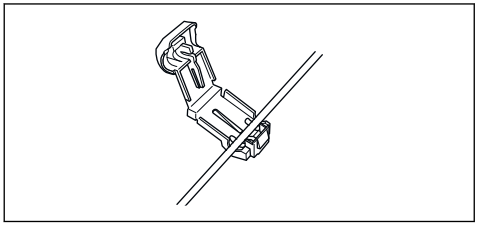
5. 電源装置を 100～240V の電源コンセントに接続します。

   注記： チャージステーションが接続されたら、本製品を充電できます。本製品をチャージステーションの上に配置して、境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設します。本製品のスイッチをオンにして充電を開始します。*メインスイッチ 31* ページを参照してください。設置が完了してから、本製品の設定を続行してください。
6. ケーブルをペグで地面に固定するか、または地中に埋めます。*ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 21* ページまたは*境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 21* ページを参照してください。
7. 境界ワイヤーとガイドワイヤーの敷設が完了したら、ワイヤーをチャージステーションに接続します。*境界ワイヤーを取り付ける方法 20* ページおよび*ガイドワイヤーを取り付ける方法 21* ページを参照してください。
8. ガイドワイヤーを取り付けた後、付属のネジを使用してチャージステーションを地面に設置します。*ガイドワイヤーを取り付ける方法 21* ページを参照してください。

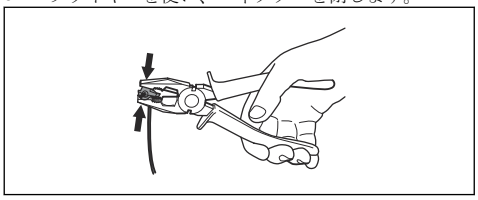
3.5.3 境界ワイヤーを取り付ける方法

注意： 余ったワイヤーをコイル内に入れないでください。コイルが本製品に対する干渉を起こす場合があります。

1. 作業エリア全体の周囲に境界ワイヤーを設置します。この設置は、チャージステーションの後ろ側から始め、そこで終了するようにしてください。
2. コネクターを開き、境界ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。



3. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。



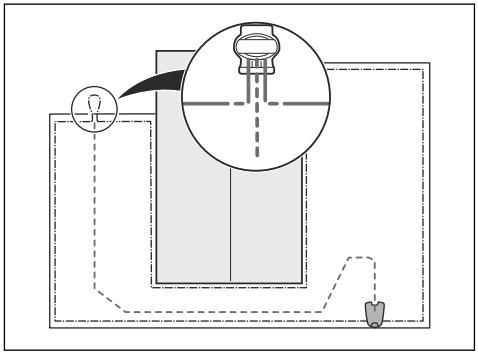
4. この境界ワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
5. 右側のコネクターを、チャージステーションの「AR」というマークの付いた金属ピンに接続します。

6. 左側のコネクターを、チャージステーションの「AL」というマークの付いた金属ピンに接続します。

3.5.4 ガイドワイヤーを取り付ける方法

注意： ツインケーブルや絶縁テープで絶縁されたネジ式端子ブロックは、満足のいく接合ではありません。土に含まれる湿気でワイヤーが酸化し、一定期間が経過すると回路が損傷します。

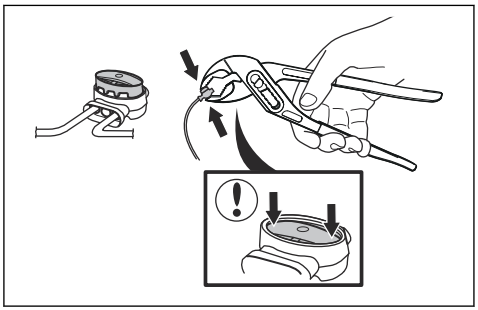
1. コネクターを開き、ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。
2. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。
3. ガイドワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
4. ガイドワイヤーを押してチャージステーションプレートのスロットに通します。
5. コネクターを、チャージステーションの「G1」というマークの付いた金属ピンに接続します。(該当する場合は、「G2」および「G3」も同様にします)。
6. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
7. ガイドワイヤーの端を、境界ワイヤーのアイレットに置きます。
8. ワイヤーカッターを使用して、境界ワイヤーを切断します。
9. カプラーを使用して、ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続します。



a) 境界ワイヤーの両端とガイドワイヤーの端をカプラーに入れます。

注記： ガイドワイヤーの両端がカプラーの透明部分を通っていることを確認してください。

b) 調整式プライヤーを使用して、カプラーのボタンを押します。



10. ガイドワイヤーをペグで地面に取り付けるか、または地中に埋めます。*ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 21 ページ*または*境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 21 ページ*を参照してください。
11. チャージステーションを電源に接続します。

3.6 ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法

注意： ペグが境界ワイヤーとガイドワイヤーを保持して地面に固定されていることを確認します。

注意： 設置直後に芝を短く刈り込み過ぎると、ワイヤーの絶縁を損傷することがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。

1. 境界ワイヤーとガイドワイヤーを地面に置きます。
2. ペグを、30 cm / 12 インチ以下の間隔をあけて置きます。
3. ハンマーまたはプラスチックハンマーで、ペグを地面に打ち込みます。

注記： 数週間後には、このワイヤーは芝で覆われて見えなくなります。

3.7 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法

- エッジャーまたはストレートシャベルで、地面に溝を切ります。
- 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを 1-20 cm / 0.4-8 インチの深さで埋め込みます。

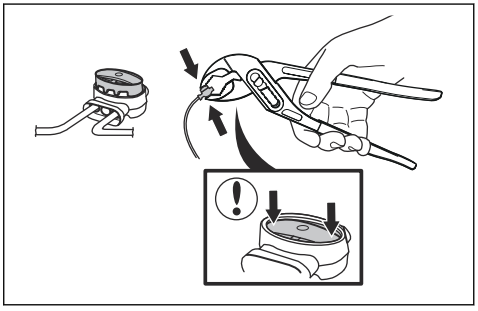
3.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーが作業エリアに対して短すぎる場合は、延長します。カプラーなどの予備部品は、純正部品を使用してください。

1. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
2. 延長用カプラーを取り付ける必要がある場所では、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーをワイヤーカッターで切断します。
3. 延長用カプラーを取り付ける必要がある場所に、延長用のワイヤーを追加します。
4. 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
5. ワイヤーの端部をカプラー内に入れます。

   注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーの端がカプラーの透明部分を通っていることを確認します。

6. アジャスタブルプライヤーでカプラーのカバーを押し下げてカプラーにワイヤーを取り付けます。



7. ペグを使って、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
8. チャージステーションを電源に接続します。

3.9 本製品設置後の点検

3.9.1 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。
2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。*チャージステーションの LED インジケータランプ 45* ページおよび*チャージステーションを設置する方法 19* ページを参照してください。

3.9.2 基本設定を行うには

本製品の電源を初めて入れるときには、製品の動作を開始する前に、いくつかの基本設定を行う必要があります。製品とチャージステーションのペアリングや、GeoFence での盗難防止機能の有効化などです。*ジオフェンス 29* ページを参照してください。設定を変更したり本製品を操作したりするには、Automower® Connect アプリとのペアリングが必要です。*Automower® Connect22* ページを参照してください。

1. 本製品のスイッチをオンにします。

   注記： Bluetooth® ペアリングモードは 3 分間有効です。この時間内にペアリングが成功しなかった場合は、本製品の電源をオフにします。LED インジケータランプが消えるまで待ってから、本製品のスイッチをオンにします。

2. 工場 PIN コードを入力します。
3. Husqvarna アプリで Automower® Connect アカウントにログインします。
4. ご使用のモバイルデバイスで、Bluetooth® を起動します。
5. Automower® Connect アプリで *My mowers（登録した芝刈機）* を選択してから、プラス記号（+）を選択します。
6. 機種を選択します。Automower® Connect アプリは、短距離接続（Bluetooth®）範囲内で使用可能な製品を検索します。
7. 製品を選択します。
8. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

注記： Automower® Connect アプリと製品をペアリングする必要があるのは 1 回だけです。

注記： Automower® Connect アプリの接続を解除するには、アプリを完全に終了する必要があります。

3.10 Automower® Connect

このアプリには、次の 2 つの接続モードがあります。長距離携帯電波接続と短距離 Bluetooth® 接続です。

本製品は、Automower® Connect アプリがインストールされているモバイルデバイスに接続することができます。Automower® Connect は、モバイルデバイス用の無料アプリです。Automower® Connect アプリは、お持ちの Husqvarna 製品に拡張機能を提供します。次のことができます。

- 製品のステータスを確認する。
- 製品の設定を変更する。
- 拡張製品情報を取得する。

- 本製品が作業エリア外に出た場合にアラームを受信する。
- お使いの製品の統計情報を表示します。

注記： 地域により、使用されている携帯電波システムが異なるため、Automower® Connect がサポートされていない国もあります。 付帯の Automower® Connect ライフタイムサービスは、作業エリアにサードパーティの 2G/3G/4G のサブサプライヤーが存在する場合にのみ適用されます。

設置する製品が 1 台～数台の場合は、Automower® Connect アプリが適しています。製品を多数使用する場合は、Husqvarna Fleet Services™ をお勧めします。*Husqvarna Fleet Services™ 30* ページを参照してください。

3.10.1 Automower® Connect アプリのインストール

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントを登録します。
3. 登録されたメールアドレスにメールが送信されます。電子メールの手順に従って、24 時間以内にアカウントを認証します。
4. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントにログインします。

3.10.2 Automower® Connect と本製品をペアリングする方法

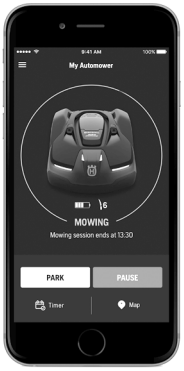
1. *基本設定を行うには 22 ページ*の手順 1～7 を実行します。
2. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

3.10.3 ダッシュボード

ダッシュボードには本製品の現在の状況が図とテキストで表示されます。たとえば、*［Park（駐車）］*などのオプションを選択することで、本製品を簡単に制御できます。

ダッシュボードの下部に、*［Schedule settings（スケジュール設定）］*と*［Map（地図）］*のショートカットがあります。 ダッシュボードには、以下のルールで記号が表示されます。

1. バッテリーステータスはバッテリー残量を示しています。本製品のバッテリーを充電中の場合は、バッテリーマークにフラッシュが表示されます。 本製品がチャージステーションにあるが充電中でない場合は、バッテリーマークにプラグが表示されます。
2. 刈高。



動作モード*［START］*、*［Park（駐車）］*、および*［Pause（一時停止）］*の詳細については、「*Operation（動作）31* ページ」を参照してください。

3.10.4 アカウント

このメニューにはアカウント設定の概要が表示されるほか、アプリからログオフできます。

3.10.4.1 単位の形式の設定

1. 単位の形式として*メートル法*または*ヤードポンド法*を選択します。

3.10.5 登録芝刈機

*［My mowers（登録した芝刈機）］*を選択すると、アカウントにペアリングされている製品をすべて管理できます。また、新しい製品を追加することもできます。ペアリングされた製品が複数ある場合は、いずれか 1 台を*［Current mower（現在の芝刈機）］*として選択することができます。

新しい製品を Automower® Connect アプリにペアリングする方法：

1. プラス記号（+）を選択します。
2. 機種を選択します。
3. Automower® Connect アプリの指示に従い、ペアリングを完了します。

3.10.6 Automower® Direct

Automower® Direct は短距離 Bluetooth® 通信を使用します。Automower® 520/550 に搭載されています。

Automower® Direct は、使用者が Automower® Connect アプリと PIN コードを持っているが、Husqvarna アカウントを作成していない場合に便利です。Automower® Direct は、製品との接続が一時的なものである場合にも便利です。

Husqvarna は、長距離携帯電波接続の持続時間、通信範囲のいずれも保証することはできません。本製品の近くにいる場合は、Bluetooth® で本製品と通信することが可

能です。Automower® Direct は、Husqvarna アカウントがなくても、製品 PIN コードがあれば使用できます。

注記： Automower® Direct 接続は、Bluetooth® 範囲内でのみ有効です。Bluetooth® 範囲外に移動すると、Automower® Direct 接続が切断され、接続プロセスを再度実行する必要があります。

3.10.6.1 Automower® Direct の使い方

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリのスタート画面で、Automower® Direct を選択します。
3. ご使用のモバイルデバイスと本製品で、Bluetooth® を起動します。*基本設定を行うには 22 ページを参照してください。*
4. Automower® Connect アプリで、ペアリングする製品を選択してください。
5. その製品の PIN コードを入力します。

注記： Bluetooth® の短距離接続範囲内にいれば、これらのメニューや機能にアクセスできます。

3.10.7 マップ

地図には、本製品の現在の位置と、設定されたジオフェンスの中心点が表示されます。

3.10.7.1 地図の設定

1. メインメニューで *[Map（地図）]* を開きます。
2. 設定のマークを選択します。
3. *[Movement path（移動経路）]* の有効／無効を切り替えます。
4. *[GeoFence radius（ジオフェンス半径）]* の有効／無効を切り替えます。
5. *[Map view（地図ビュー）]* と *[Satellite view（衛星ビュー）]* のいずれかを選択します。

3.11 Automower® Connect の設定

本製品は工場出荷時に設定されていますが、設定は各作業エリアに合わせて変更できます。

3.11.1 Schedule（スケジュール）



[Schedule（スケジュール）] で、本製品のスケジュール設定を変更できます。

スケジュール機能は、本製品が動作する時間としない時間をコントロールするものです。本製品は、動作していないときにはチャージステーションに駐車しています。

Automower® Connect アプリに運転時間と運転日数の概要が表示されます。

スケジュールのデフォルト設定では、本製品は毎日 24 時間休みなく動作します。通常、この設定は、製品の最大性能に相当する作業エリアに適しています。作業エリアが最大性能より小さい場合、スケジュール機能を使用して、芝の傷みや製品の摩耗を最小限に抑えるのが良いでしょう。

スケジュール設定の計算については、*スケジュール設定の計算 24 ページ*を参照してください。

3.11.1.1 スケジュール設定の編集

1. アプリで *[Settings（設定）]* > *[Security（セキュリティ）]* > *[Edit（編集）]* を選択します。
2. アプリで鉛筆のアイコンを選択します。
3. 本製品が動作する曜日と時間を選択します。
4. *[Save（保存）]* を選択します。

3.11.1.2 新しいスケジュール設定の追加

1. アプリで *[Settings（設定）]* > *[Security（セキュリティ）]* > *[Edit（編集）]* を選択します。
2. アプリでプラス記号（+）を選択します。
3. 本製品が動作する曜日と時間を選択します。
4. *[Save（保存）]* を選択します。

3.11.1.3 スケジュール設定の計算

1. 芝生の面積を、m^2/ft^2 単位で計算します。
2. この面積（m^2/ft^2）を、おおよその運転時間で割ります。以下の表を参照してください。
3. 計算結果は、本製品が毎日動作するべき時間数になります。

注記： この運転時間は概算値で、平坦で障害物のない作業エリアを想定して算出されています。作業エリアに斜面や障害物が多い場合は、*[Schedule（スケジュール）]* 設定を長くする必要があります。

モデル	概算運転時間、m^2/h / ft^2/h
Automower® 520	92 / 990
Automower® 550	208 / 2240

例: 500 m^2/5400 ft^2 の芝生を Automower® 520 で刈る場合。

500 m^2 / 92 ≈ 5.5 時間

5400 ft^2 / 990 ≈ 5.5 時間

日／週	時間／日	スケジュール設定
7	5.5	07:00 - 12:30 / 07:00 am - 12:30 pm

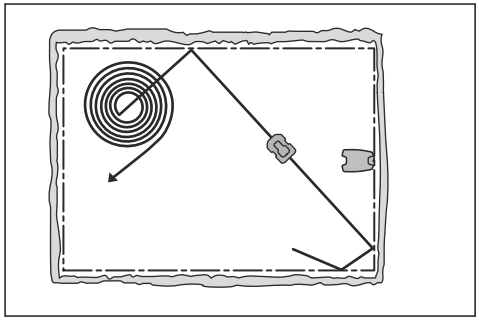
3.11.2 操作

操作メニューで、*[Weather timer（天候タイマー）]*、*[ECO mode（ECO モード）]*、および *[Spiral cutting（スパイラルカット）]* の設定を変更することができます。

3.11.2.1 Spiral cutting（スパイラルカット）

移動したエリアで芝が平均より長いと検知された際に、本製品の移動パターンを*スパイラルカット*に変えることができます。これにより、本製品は、スパイラルパターンで長い芝を素早く刈り込むことができます。*スパイラルカット*の強度を設定できます。強度を *[Very low（最低）]* ／ *[Low（低）]* にすると、*スパイラルカット*を行う頻度が低下します。強度を *[High（高）]* ／ *[Very high（最高）]* にすると、*スパイラルカット*を行う頻度が増加します。

注記： *スパイラルカット*は、*メインエリア*モードでのみ開始されます。*カンダリエリア*モードでの芝刈りでは、本製品は*スパイラルカット*を開始しません。勾配が 15 %を超える斜面では、*スパイラルカット*は開始されません。



1. アプリで *[Settings（設定）]* > *[Operation（動作）]* を選択します。
2. *[ON/OFF]* を選択して、*スパイラルカット*を有効または無効にします。
3. *[Settings（設定）]* > *[Spiral Cutting（スパイラルカット）]* > *[Use（使用）]* > *[Intensity（強度）]* を選択して、機能のレベルを選択します。
4. *[Save（保存）]* を選択します。

3.11.2.2 天候タイマー

*天候タイマー*により、芝の成長具合に合わせて芝刈り時間が自動的に調整されます。本製品は、スケジュール設定より長く運転することはできません。

注記： *天候タイマー*を使用する場合、*天候タイマー*の運転時間をできる限り長くすることをお勧めします。必要以上にスケジュールを制限しないでください。

1 日の最初の動作は、スケジュール設定で設定します。本製品は、常に 1 回の芝刈りサイクルを完了してから、引き続き動作するかどうかが*天候タイマー*により決定されます。

注記： 製品が 50 時間以上動作を停止した場合、または*すべてのユーザー設定がリセット*された場合は、*天候タイマー*がリセットされます。*スケジュール設定のリセット*が行われても、*天候タイマー*は変更されません。

天候タイマーの設定

1. アプリで *[Settings（設定）]* > *[Operation（動作）]* を選択します。
2. *[ON/OFF]* を選択して、*天候タイマー*を有効または無効にします。

   注記： 芝刈り結果が適切でない場合は、芝刈り時間を調整できます。芝刈り時間を長くするには *[High（高）]*、短くするには *[Low（低）]* に設定します。
3. *[Save（保存）]* を選択します。

3.11.2.3 ECO mode（ECO モード）

*ECO モード*が有効になっている場合、本製品の駐車中や充電中に、境界ループ、ガイドワイヤー、チャージステーションの信号が停止します。

注記： *ECO モード*は、電力を節約したり、ヒアリングループやガレージドアなどの他の機器との干渉を回避したりするために使用します。

注記： 本製品を作業エリアで手動で始動させる際には、**[STOP]** ボタンを押してから、チャージステーションから本製品を取り外します。そうしないと、作業エリア内で本製品を始動できなくなります。

ECO モードの設定

1. アプリで *[Settings（設定）]* > *[Operation（動作）]* を選択します。
2. *[ON/OFF]* を選択して、*ECO モード*機能を有効または無効にします。
3. *[Save（保存）]* を選択します。

3.11.3 設置

設置メニューでは、最適な芝刈り結果を得られるように製品の設定を調整できます。

3.11.3.1 チャージステーションの探索

本製品は、3 種類の方法でチャージステーションを探すよう設定できます。

- *チャージステーションの信号*
- *境界ワイヤーに沿う*
- *ガイドワイヤーに沿う*

工場出荷時には、この 3 つの検索方法を同時に使用するように設定されています。工場出荷時の設定を使用した場合、可能な限り早くチャージステーションを見つけることができるとともに、芝生の上にわだちができるリスクが最小限になります。本製品は常に*チャージステーションの信号*の検索から開始します。指定された間隔の後には、*ガイドに沿う*と*境界ワイヤーに沿う*も使用します。

本製品がワイヤーに追従できない原因は次のとおりです。

- ワイヤーの近くの障害物が隔離されていない。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーが*チャージステーションを設置する方法 19 ページ*、*境界ワイヤーを取り付ける方法 20 ページ*、*ガイドワイヤーを取り付ける方法 21 ページ*の指示に従って設置されていない。

チャージステーションの信号範囲を変更するには

設置場所によっては、チャージステーションの信号強度を下げる必要があります。たとえば、チャージステーションを低木や壁などの障害物の近くに設置し、信号が障害物の反対側に届く場合などです。本製品は、チャージステーションが近くにあることを検知しており、ドッキングを試みますが、障害物によってドッキングが妨げられます。オプションは、*[min（最小）]*、*[avg（平均）]*、*[max（最大）]* です。

注記： 推奨される設定は *max（最大）* です。通常、チャージステーションの信号到達範囲を狭めるよりも、チャージステーションを移動する方が良い方法です。

1. アプリで、*[Settings（設定）]* > *[Installation（設置）]* > *[Find charging station（チャージステーション探索）]* の順に選択します。
2. 信号範囲を選択します。
3. *[Save（保存）]* を選択します。

ガイドワイヤーと境界ワイヤーの遅延時間の設定

1. アプリで、*[Settings（設定）]* > *[Installation（設置）]* > *[Find charging station（チャージステーション探索）]* の順に選択します。
2. *[ON/OFF]* を選択して、ワイヤーの追従を有効または無効にします。
3. 水平バーを動かして、遅延時間を設定します。
4. *[Save（保存）]* を選択します。

3.11.3.2 芝生範囲

本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、運転の最適化に役立ちます。

[Lawn coverage（芝生範囲）] 機能を使用して、設定を手動にします。

GPS 機能の設定

1. アプリで、*[Installation（インストール）]* > *[Settings（設定）]* > *[Lawn coverage（芝生範囲）]* の順に選択します。
2. *[ON/OFF]* を選択して、GPS 機能を無効または有効にします。

   注記： GPS アシストナビゲーションを有効化すると、GPS サービスがある場合にナビゲーションが使用されます。手動設定した場合も、GPS アシストナビゲーションが使用されます。GPS サービスを使用できない場合のみ、手動設定が使用されます。
3. *[Save（保存）]* を選択します。

芝生範囲機能の設定

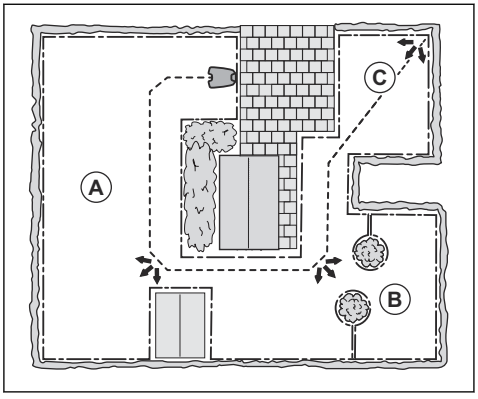
[Lawn coverage（芝生範囲）] 機能は、本製品を作業エリア内の離れた部分（リモートエリア）にガイドするために使用します。作業エリアに狭い通路でつながっている遠隔部がある場合は、*[Lawn coverage（芝生範囲）]* 機能を使用すると、庭のすべての部分の芝を適切に刈り整えるのに便利です。本製品が芝刈りをスタートする遠隔エリアを最大 5 つまで設定できます。

[Lawn Coverage（芝生範囲）] 機能を使用すると、本製品はまずガイドワイヤーに沿って移動し、特定の距離に到達するとガイドワイヤーから離れて、芝刈りを開始します。

エリア A、約 50%

エリア B、約 30%

エリア C、約 20%



各エリアは、設定を入力しなおさなくても無効化または有効化できます。

1. アプリで、*［Settings（設定）］ > ［Installation（設置）］ > ［Lawn coverage（芝生範囲）］* の順に選択します。
2. *［ON/OFF］* を選択して GPS 機能を無効化し、*［Lawn Coverage（芝生範囲）］* を設定します。
3. *［Area 1-5（エリア 1～5）］* の ON/OFF を切り替えて、エリアを有効にします。
4. 水平バーを動かして、本製品をどのワイヤーに追従させるかを設定します。本製品は、*［Boundary wire left（境界ワイヤー左）］*、*［Boundary wire right（境界ワイヤー右）］*、またはいずれかのガイドワイヤーに追従させることができます。
5. 水平バーを動かして、本製品がワイヤーに追従する距離を設定します。その後、本製品はワイヤーから離れ、芝刈りが始まります。*チャージステーションからの距離を測定するには 27* ページを参照してください。
6. 水平バーを動かして、本製品が各エリアに行く頻度を設定します。それ以外の場合はすべて、チャージステーションの近くで芝刈りを開始します。パーセンテージは、作業エリア全体に対する面積のパーセンテージに等しくなります。
   a) エリアを測定します。
   b) 測定したエリアの面積を作業エリア全体の面積で割ります。
   c) 結果をパーセントに変換します。
   d) 水平バーを動かして、チャージステーションからの距離を設定します。
7. *［Save（保存）］* を選択します。

デフォルト設定では、本製品はチャージステーションを離れる回数のうち 300 の割合でガイドワイヤーに 980 m / 20% フィート追従します。ガイドワイヤーが 300 m / 980 フィートより短い場合、本製品は、ガイドワイヤーと境界ワイヤーが接続する地点までワイヤーに沿って進みます。

チャージステーションからの距離を測定するには

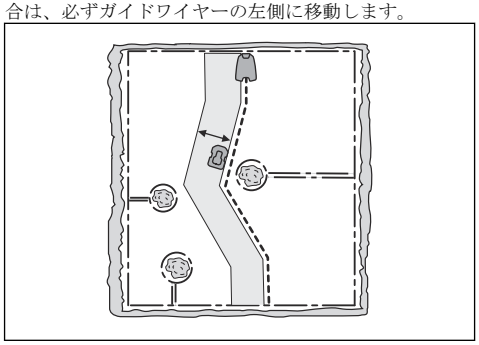
1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. アプリで、*［Settings（設定）］ > ［Installation（設置）］ > ［Lawn coverage（芝生範囲）］* の順に選択します。
3. 水平バーを動かして、チャージステーションまでの距離を最大に設定します。
4. *［Test: Area 1-5 setup（テスト：エリア 1～5 設定）］* を選択します。
5. アプリの指示に従い、テストを開始します。
6. 本製品が測定対象として選択した距離に達したら、**［STOP］** ボタンを押します。距離がアプリに表示されます。

芝生範囲機能の点検

1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. アプリで、*［Settings（設定）］ > ［Installation（設置）］ > ［Lawn coverage（芝生範囲）］* の順に選択します。
3. *［Test: Area 1-5 setup（テスト：エリア 1～5 設定）］* を選択します。
4. アプリの指示に従い、テストを開始します。
5. 本製品はこのエリアのスタート地点に向かいます。

3.11.3.3 経路幅

境界ワイヤー経路は境界ワイヤーに隣接するエリアで、ガイド経路はガイドワイヤーに隣接するエリアです。本製品は経路を使用してチャージステーションを見つけます。本製品がチャージステーションの方向に移動する場合は、必ずガイドワイヤーの左側に移動します。



経路幅は自動的に調整されます。場合により、手動設定を入力する必要があります。走路幅は 0～9 の間で設定できます。ガイドの経路幅が 0 に設定されている場合、本製品はガイドワイヤーをまたぎます。工場設定では、境界ワイヤーは 6、ガイドワイヤーは 9 です。

経路幅を設定するには

1. アプリで、*［Settings（設定）］ > ［Installation（設置）］ > ［Corridor width（経路幅）］* の順に選択します。
2. 水平バーを動かして幅を設定します。
3. *［Save（保存）］* を選択します。

注記： 芝生にわだちができる可能性を最小限に抑えるために、経路幅はできるだけ広くしてください。

3.11.3.4 出口角度

工場出荷設定では、本製品は出口セクターの方向に 90° ～ 270°の範囲でチャージステーションから離れます。本製品が作業エリアに容易に到達できるように、出口角度を変更します。たとえば、チャージステーションを経路に配置する場合、70°～ -110°および 250°～ -290°の 2 つの出口角度を使用できます。2 つの出口角度を設定する場合は、本製品がセクター 1 のチャージステーションを離れる頻度も設定する必要があります。［Proportion（比率）］機能を使用して、製品が各セクターを使用する頻度を設定します。たとえば 75 %に設定した場合は、

本製品がチャージステーションからセクター 1 を出る回数が全体の 75 %で、セクター 2 を出る回数は全体の 25 %であることを意味します。

出口角度の設定

1. アプリで、*［Settings（設定）］* > *［Installation（設置）］* > *［Exit angles（出口角度）］* の順に選択します。
2. 水平バーを動かしてセクターの角度を度単位で指定して、パーセントで比率を指定します。
3. *［Save（保存）］* を選択します。

3.11.3.5 後退距離

後退距離を設定すると、本製品は、設定した距離だけ後退してから芝刈りを開始します。工場出荷時設定は、60 cm／24 フィートです。

後退距離の設定方法

1. アプリで、*［Settings（設定）］* > *［Installation（設置）］* > *［Reversing distance（後退距離）］* の順に選択します。
2. 水平バーを動かして距離を設定します。
3. *［Save（保存）］* を選択します。

3.11.3.6 ワイヤー通過運転

本製品のフロント部は常に、境界ワイヤーとの間に指定されている距離を保って移動し、その距離まで近づくと、作業エリア内へ戻っていきます。*［Drive past wire（ワイヤーを通過）］* 機能の工場出荷時設定は 31 cm/12 インチです。20-50 cm/8-20 インチの範囲で距離を選択できます。

注記： 工場出荷時の設定では、本製品はワイヤーを通過して 11 cm/4 インチ刈ります。

注記： *［Drive Past Wire（ワイヤーを通過）］* の距離が変更されると、作業エリア内にあるすべての境界ワイヤーについて距離が変更されます。

ワイヤー通過運転の設定

1. アプリで、*［Settings（設定）］* > *［Installation（設置）］* > *［Drive past wire（ワイヤーを通過）］* の順に選択します。
2. 水平バーを動かして距離を設定します。
3. *［Save（保存）］* を選択します。

3.11.4 アクセサリー



本製品に取り付けられているアクセサリーの設定は、このメニューで行うことができます。

3.11.4.1 Automower® ハウスとの衝突の回避

このオプションが有効になっている場合は、本製品と Automower® ハウスの摩耗が減りますが、チャージステーション周囲で芝を刈り取らない部分が広くなります。

1. アプリで、*［Settings（設定）］* > *［Installation（設置）］* > *［Mower house（芝刈機ハウス）］* の順に選択します。
2. *［ON/OFF］* を選択して、機能を有効または無効にします。
3. *［Save（保存）］* を選択します。

3.11.4.2 超音波の設定

1. アプリで、*［Settings（設定）］* > *［Installation（設置）］* > *［Ultrasonic（超音波センサー）］* の順に選択します。
2. *［ON/OFF］* を選択して、機能を有効または無効にします。
3. *［Save（保存）］* を選択します。

3.11.5 全般（Bluetooth® のみ）



この機能は、日時を設定したり、デフォルトの設定にリセットしたりするために使用します。

3.11.5.1 Time & date（時刻 & 日付）

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

日付と時刻の設定

1. アプリで、*［Settings（設定）］* > *［General（一般）］* > *［Time & Date（時刻 & 日付）］* の順に選択します。
2. *［Time & Date from phone（携帯の日付と時刻）］* を選択するか、鉛筆アイコンを選択して正しい日時を入力します。
3. *［Save（保存）］* を選択します。

3.11.5.2 工場設定へのリセット

ユーザー設定は、リセットして工場出荷時の設定に戻すことができます。

注記： *PIN コード、ループ信号、メッセージ、および日付と時刻*はリセットされません。

工場設定へのリセット方法

1. アプリで、*［Settings（設定）］* > *［General（一般）］* > *［Reset（リセット）］* の順番に選択します。
2. *［Reset to factory settings（工場設定へのリセット）］* を選択します。

3.11.6 セキュリティ（Bluetooth® のみ）



セキュリティ設定で、PIN コード、ジオフェンス、その他のセキュリティ機能を制御します。Automower® Connect アプリの *［Security（セキュリティ）］* メニューにアクセスするには、正しい PIN コードを入力する必要があります。

3.11.6.1 新規ループ信号

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する 2 つの装置で非常に類似した信号を使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。

新規ループ信号の生成

1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. アプリで *［Security（セキュリティ）］* > *［New loop signal（新規ループ信号）］* > *［Create new loop signal（新規ループ信号作成）］* を選択します。
3. *［Save（保存）］* を選択します。
4. ループ信号が生成されたことを確認するメッセージを待ちます。通常、これには約 10 秒かかります。

3.11.6.2 PIN コードの変更

1. アプリで、*［Security（セキュリティ）］* > *「Change PIN code（PIN コード変更）］* の順に選択します。
2. PIN コードを入力します。
3. 新しい PIN コードを入力します。
4. 確認用に新しい PIN コードを入力します。
5. 新しい PIN コードをメモに記録します。*はじめに 3* ページを参照してください。

3.11.6.3 盗難防止

［Theft protection（盗難防止）］ メニューで、アラーム持続時間およびアラームをトリガーするイベントを設定することができます。工場出荷時の設定では PIN コードが必要で、アラームの持続時間は 1 分です。

時間ロック
時間ロックは 1～100 日の間で設定できます。工場出荷時の設定は 30 日です。選択した日数が経過すると、本製品は通常どおりに動作します。新しい設定を入力するには、PIN コードを入力する必要があります。

PIN コードを要求
これは、**［STOP（ストップ）］** ボタンを押した後は、正しい PIN コードを入力しないと、本製品を操作したり制御したりできなくなるという機能です。間違った PIN コードを連続して 5 回入力すると、本製品は一時的にロックされます。新しく不正な試行が行われるたびに、ロック時間が延長されます。

アラーム持続時間
アラーム信号を持続させる時間を設定できる場合があります。1 分から 10 分の間で設定できます。

ストップボタン押下状態
アラーム *「STOP button pressed（ストップボタン押下状態）」* が有効になっている場合は、誰かが **［STOP（ストップ）］** ボタンを押し、その後 30 秒以内に PIN コードが入力されないと、このアラームが出されます。

持ち去り
アラーム *「Carried away（持ち去り）］* が有効になっている場合に本製品が想定外の動きを感知すると、このアラームが出されます。

盗難防止の設定

1. アプリで、*［Settings（設定）］* > *［Security（セキュリティ）］* > *［Theft protection（盗難防止）］* の順番に選択します。
2. ［ON/OFF］ボタンを選択して、*［Time lock（時間ロック）］［Require PIN code（PIN コード必須）*、*［STOP button pressed（STOP ボタン押下状態）］*、および *［Carried away（持ち運び）］* を有効または無効にします。
3. 水平バーを動かして、アラームの持続時間を選択します。

3.11.6.4 ジオフェンス

ジオフェンスは、本製品のための仮想フェンスを作る、GPS ベースの盗難防止機能です。本製品が中心位置から離れている場合、本製品は無効化され、アラームが作動します。アラームを無効にして本製品を再起動するには、PIN コードが必要です。

ジオフェンス機能の中心位置と半径の設定

1. アプリで、*［Settings（設定）］* > *［Security（セキュリティ）］* > *［GeoFence（ジオフェンス）］* の順番に選択します。
2. 本製品を作業エリアの中心位置に置きます。
3. *［ON/OFF］* ボタンを選択して、ジオフェンス機能を有効または無効にします。中心位置は、本製品の現在の位置に設定されます。
4. 水平バーで半径を設定します。

3.11.7 Automower® Connect（Bluetooth® のみ）



Automower® Connect では、Automower® Connect モジュールを有効または無効にできます。また、信号強度や接続ステータスの確認、新しいペアリングの開始、ペアリングされたアカウントからの本製品の削除を行うこともできます。

3.11.8 メッセージ（Bluetooth® のみ）

このメニューでは、過去の障害および情報メッセージを表示できます。一部のメッセージでは、障害の是正に役立つヒントやアドバイスが表示されます。

注記： *［Messages（メッセージ）］*メニューは、Bluetooth® 短距離接続時のみ使用できます。

何かに引っかかったりバッテリー残量が不足したりなど、何らかの理由で本製品に障害が発生した場合は、その障害についてのメッセージと発生時刻が保存されます。

同じメッセージが数回繰り返された場合は、設置場所または本製品に対する調整が必要であるかもしれません。*Installation（設置）14* ページを参照してください。

3.11.9 Husqvarna Fleet Services™

Husqvarna Fleet Services™ は、業務用管理者にすべての製品の概要を提供するクラウドソリューションです。業務用管理者は、すべての製品をリモートで制御することもできます。Husqvarna Fleet Services™ は、Automower® 520/550 に付属します。Husqvarna Fleet Services™ について詳しくは、www.husqvarna.com を参照してください。

3.11.9.1 本製品と Husqvarna Fleet Services™ の接続方法

1. Husqvarna Fleet Services™ アプリと Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Husqvarna Fleet Services™ アカウント（www.husqvarna.com）を作成します。
3. Husqvarna Fleet Services™ アプリにログオンします。
4. 本製品の**メインスイッチ**を *［1］*の位置にセットします。

   注記： Bluetooth® ペアリングモードは 3 分間有効です。この時間内にペアリングが成功しなかった場合は、本製品の電源をオフにします。LED インジケータランプが消えるまで待ってから、本製品の電源をオンにします。
5. Husqvarna Fleet Services™ アプリでプラス記号（+）を選択します。
6. *Automower™ を選択*し、次に *Automower™ Pro* を選択します。Husqvarna Fleet Services™ アプリは、短距離接続（Bluetooth®）範囲内で使用可能な製品を検索します。
7. 製品を選択します。
8. *［Acquire pairing code（ペアリングコードの取得）］*を選択して、本製品を Husqvarna Fleet Services™ アカウントと接続します。
9. Husqvarna Fleet Services™ アプリの指示に従ってください。

注記： Husqvarna Fleet Services™ アプリと製品をペアリングする必要があるのは 1 回だけです。

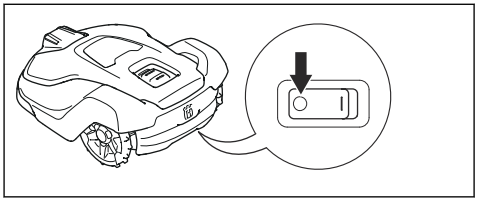
4 Operation（動作）

4.1 メインスイッチ

警告： 本製品を使用する前に、安全注意事項をよくお読みください。

警告： 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。カッティングモーターの作動中は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。

警告： 人（特にお子様）や動物が作業エリアにいるときには、本製品を決して使用しないでください。



- 本製品を始動するには、**メインスイッチ**を *[1]* の位置にします。
- 本製品を使用しない場合や、本体の点検またはメンテナンスを行う場合は、**メインスイッチ**を *[0]* の位置にします。

4.2 開始

1. **メインスイッチ**を *[1]* の位置にセットします。
2. Automower® Connect アプリを開きます。
3. *[Dashboard（ダッシュボード）]* を選択します。
4. Automower® Connect アプリで *[START]* を選択します。

   本製品をチャージステーションに駐車した場合、バッテリーが完全に充電され、スケジュール設定で本製品の運転が許可されている場合のみ、本製品はチャージステーションから離れます。

注記： 本製品上部の **[START]** ボタンが、正しい位置になっていることを確認します。**[STOP]** ボタンがオンになっている場合、本製品は始動しません。



4.3 動作モード - START

[START] ボタンを選択すると、以下の動作が選択できます。

- Main area（メインエリア）
- Override schedule（スケジュールのオーバーライド）
- Secondary area（セカンダリエリア）

4.3.1 メインエリア

[Main area（メインエリア）] は、本製品が芝刈りと充電を自動的に行う、標準の運転モードです。

1. Automower® Connect アプリを開きます。
2. メインメニューで *[Dashboard（ダッシュボード）]* を選択します。
3. *[Start（スタート）]* を選択します。
4. *[Resume on main area（メインエリアで再開）]* を選択して、本製品を始動します。

4.3.2 Override schedule（スケジュールのオーバーライド）

[Override schedule（スケジュールのオーバーライド）] を選択すると、いつでも一時的にスケジュール設定をオーバーライドできます。

1. メインメニューで *[Dashboard（ダッシュボード）]* を選択します。
2. *[START]* を選択します。
3. *[Override schedule（スケジュールのオーバーライド）]* の水平バーをスライドさせ、適切なオーバーライド期間にします。最大 7 日間、スケジュールをオーバーライドできます。
4. 任意のオーバーライド期間を選択します。

4.3.3 セカンダリエリア

セカンダリエリアの芝刈りをするには、動作モード *Secondary area（セカンダリエリア）* を選択する必要があります。このモードでは、使用者が、メインエリアとセカンダリエリアの間を手動で本製品を移動させる必要があります。選択した期間、またはバッテリーが空になるまで、本製品は芝刈りを行います。バッテリーの残量がなくなると、本製品は停止します。本製品をチャージステーションに入れて、バッテリーを充電します。バッテリーが充電されると、本製品はチャージステーションから移動して停止します。本製品の作動準備は整いましたが、作動前に使用者が確認する必要があります。*Secondary area（セカンダリエリア）* モードでは、本製品は選択された期間、またはバッテリーが空になるまで作動します。

注記： バッテリーの充電後にメインエリアの芝を刈るには、本製品をチャージステーションに置く前に、*Main area（メインエリア）* モードに設定します。

4.4 動作モード - Park（駐車）

［Park（駐車）］ を選択すると、以下の動作を選択できます。

- Park until further notice（さらなる通知があるまで駐車）
- Start with schedule（スケジュールで開始）
- Parking duration（駐車時間）

4.4.1 Park until further notice（さらなる通知があるまで駐車）

動作モード *Park*（駐車）では、新しい動作モードが選択されて **START** ボタンが押されるまで、本製品はチャージステーションに留まります。

4.4.2 スケジュールで開始

本製品はチャージステーションに戻り、次のスケジュール設定で本製品の動作が許可されるまで留まります。この動作選択を使用することで、散水や芝生での試合などの場合に、動作を一時的に停止できます。

4.4.3 駐車時間

本製品はチャージステーションに戻り、選択した駐車時間の間留まります。この動作選択を使用することで、進行中の芝刈りサイクルを一時的に停止し、本製品をチャージステーションに駐車させることができます。

4.4.4 チャージステーションの駐車ボタン

チャージステーションの **［PARK（駐車）］** ボタンは、本製品をチャージステーションに呼び戻すために使用します。Automower® Connect アプリの *［Park（駐車）］* も同じ機能です。チャージステーションの **［PARK（駐車）］** ボタンは、本製品の作業エリアが広く、使用者が Automower® Connect アプリにアクセスできない場合などに役に立ちます。

［PARK（駐車）］ ボタンを押すと、ボタンの LED が点灯します。本製品がチャージステーションに駐車すると、LED ダイオードが消灯します。

本製品は、Automower® Connect アプリで *［START］* を選択するまで、チャージステーションに留まります。



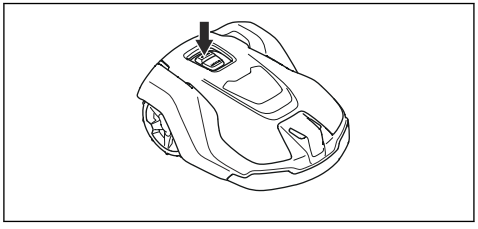
4.4.5 操作モード - 一時停止

Automower® Connect アプリで *［Pause（一時停止）］* を選択すると、本製品は現在の動作をやめて、一時停止します。本製品の一時停止を解除するには、Automower® Connect アプリで *［Park（駐車）］* または *［Start（スタート）］* を選択します。

4.5 本製品の停止方法

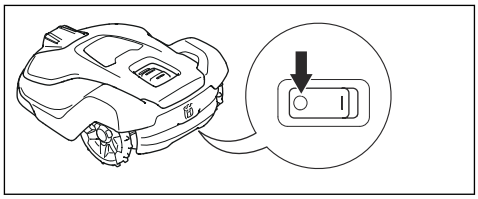
1. 本製品の上部にある **STOP** ボタンを押します。

本製品が停止し、カッティングモーターが停止します。



4.6 本製品のスイッチをオフにする方法

1. 本製品の上部にある **［STOP（ストップ）］** ボタンを押します。
2. **メインスイッチ** を *［0］* の位置にセットします。



警告： メンテナンスが必要な場合、または本製品を作業エリアの外に移動する必要がある場合は、必ずメインスイッチを使用して本製品をオフにしてください。

4.7 Automower® Connect で刈高を調整する方法

刈高は、MIN（2 cm／0.8 インチ）から MAX（6 cm／2.5 インチ）まで変えることができます。

注記： 新規設置後最初の数週間は、ループワイヤーの損傷を防ぐため、刈高を最大に設定する必要があります。その後は、希望の刈高に達するまで、刈高を毎週段階的に下げることができます。

1. *［Settings（設定）］* > *［ Cutting height（刈高）］* を選択します。
2. 水平バーを動かして刈高を設定します。
3. *［Save（保存）］* を選択します。

4.8 バッテリーの充電方法

警告： 本製品は、専用のチャージステーションを使用して充電してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。

電解液が漏れた場合は、水で洗い流し、目に入った場合は医師の診察を受けてください。

本製品が新品の場合、または長期間保管されていた場合、バッテリーが空になっている可能性があるため、始動の前に充電をします。

1. **メインスイッチ**を *［1］* の位置にセットします。
2. 本製品をチャージステーションの一番奥まで入れます。本製品とチャージステーションが接続されていることを確認します。コンタクトストリップと充電ストリップについては*製品の概要 4* ページを参照してください。
3. 充電中であることを Automower® Connect アプリで確認します。

5 メンテナンス

5.1 はじめに - メンテナンス

警告： 本製品のメンテナンスを行う前に電源を切ってください。**メインスイッチ**が 0 の位置にある場合、本製品は無効になります。

警告： 保護グローブを着用します。

動作を向上し、耐用年数を長くするため、定期的に本製品を掃除し、必要に応じて摩耗した部品を交換します。すべてのメンテナンスと点検は、Husqvarna の指示に従って実行される必要があります。*保証 55* ページを参照してください。

本製品を初めて使用する場合、ブレードディスクとブレードは 1 週間に 1 回点検してください。この期間の摩耗の量が少ない場合は、点検間隔を延長できます。

ブレードディスクが簡単に回転することが重要です。ブレードの縁に損傷があってはいけません。ブレードの寿命は次の条件で大幅に変化します。

- 作動時間および作業エリアのサイズ。
- 芝の種類と季節的成長。
- 土壌、砂、および肥料の使用。
- コーン、木から落ちた果物、玩具、工具、石、根などの存在。

良好な条件で使用される場合、通常の寿命は、2 から 5 週間です。ブレードの交換方法については、*ブレードの交換 35* ページを参照してください。

注記： 鈍ったブレードで作業すると、芝刈り結果が悪くなります。芝をきれいに刈れず、より多くのエネルギーが必要となり、結果的に広いエリアを作業できなくなります。

5.2 製品の清掃

本製品を清潔に保つことは重要です。 本製品に大量の芝が詰まると、斜面を上ることができなくなります。ブラシを使用して清掃することをお勧めします。

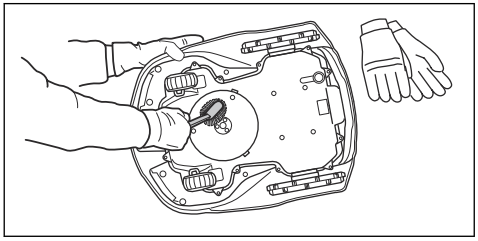
Husqvarna は、別売りの特別なクリーニングおよびメンテナンスキットの使用をお勧めします。詳細な情報については、最寄りの Husqvarna 販売店までお問い合わせください。

注意： 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。 清掃には決して溶剤を使用しないでください。

5.2.1 シャーシおよびブレードディスク

ブレードディスクとブレードを週に 1 回点検します。

1. **メインスイッチ**を *[0]* の位置にセットします。
2. 本製品を横に倒します。
3. ディッシュブラシなどを使用して、ブレードディスクとシャーシを清掃します。同時に、ブレードディスクがフットガードとに対して自由に回転することを確認します。また、ブレードが損傷しておらず、自由に回転することを確認します。



5.2.2 シャーシ

シャーシの下側を清掃します。ブラシを掛けるか、濡れた布で拭きます。

5.2.3 ホイール

ホイール周辺を清掃します。ホイールに草が付いていると、本製品の斜面での動作に影響する場合があります。

5.2.4 本製品のボディー

湿らせた柔らかいスポンジまたは布を使用して、製品本体を清掃します。本製品の本体が汚れている場合は、低刺激性の石鹸水を使用して掃除してください。

5.2.5 チャージステーション

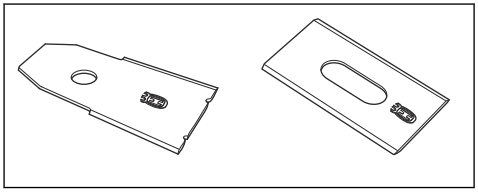
警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う前に、電源装置を電源コンセントから外してください。

チャージステーションは定期的に清掃して、草、葉、小枝などの異物がドッキングを妨害しないようにします。

5.3 ブレードの交換

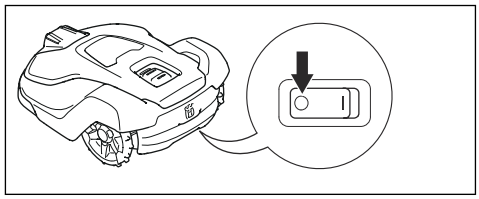
警告： 正しいサイズのブレードとネジを使用してください。Husqvarna では、純正のブレードを使用する場合のみ安全を保証しています。ブレードだけを交換し、ネジを再利用した場合は、芝刈り中にネジが摩耗することがあります。その場合、ブレードが本体の下から飛び出して、周囲の人が重傷を負うことがあります。

安全上の理由により、摩耗または破損した部品は取り替えてください。ブレードに損傷がない場合でも、最適な芝刈りと省エネ利用のため、定期的にブレードを交換する必要があります。芝刈りシステムのバランスを取るため、3 枚のブレードとネジをすべて同時に交換する必要があります。王冠形の H マークが型押しされている Husqvarna の純正ブレードを使用します（*主要諸元 52* ページを参照）。

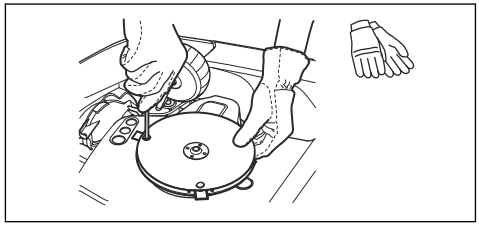


5.3.1 ブレードの交換方法

1. **［STOP］**ボタンを押します。
2. **メインスイッチ**を*［0］*の位置にセットします。



3. 本製品を上下さかさまにします。本製品に傷がつかないようにするため、柔らかくてきれいな面に本製品を置きます。
4. スキッドプレートを回して、ブレードのネジに穴を合わせます。
5. 3 本のネジをドライバーで外します。



6. 3 枚のブレードを外します。
7. 3 枚の新しいブレードとネジを取り付けます。
8. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。

5.4 バッテリー

警告： 本製品は、専用のチャージステーションを使用して充電してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。 電解液が漏れた場合は、水で洗い流し、目に入った場合は医師の診察を受けてください。

警告： メーカーが推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正以外のバッテリーを使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。

注意： 冬季保管の前にバッテリーを完全に充電する必要があります。バッテリーは、フル充電しないと、損傷して、場合によっては使用できなくなります。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーが古くなって交換の必要があることを示しています。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を 1 日に稼働させる時間の長さによって変わります。稼働させる時期が長い場合、または 1 日に使用する時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。本製品が芝をきれいに刈っている限りバッテリーに問題ありません。

5.5 冬期の保守

冬期保管前に保守を行うため、ご使用の本製品をお近くの Husqvarna セントラルサービスにお持ちください。冬期保守を毎年行うことで、本製品を良好な状態に保ち、次のシーズンも、問題なく最高の状態で使用することができます。

保守には、通常以下の作業エリアが含まれます。

- 本体、シャーシ、ブレードディスクおよびその他のすべての可動部品の完全な掃除。
- 本製品の機能および部品のテスト。
- ブレードやベアリングなどの摩耗する品目の点検、および必要に応じた交換。
- 本製品のバッテリー容量のテストに、および必要な場合はバッテリー交換の推奨。

- 新しいファームウェアが入手可能な場合は、本製品のアップデート。

6 トラブルシューティング

6.1 はじめに - トラブルシューティング

メッセージはすべて、Automower® Connect の *[Messages（メッセージ）]* メニューで確認できます。不具合や問題が発生した際の対処方法の詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

注記： *[Messages（メッセージ）]* メニューは、短距離接続（Bluetooth®）時のみ使用できます。

6.2 エラーメッセージ

次の表には、アプリに表示される不具合メッセージが記載されています。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
Wheel motor blocked（ホイールモーターがブロックされています）	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
Cutting system blocked（カッティングシステムブロック）	草などの異物がブレードディスクに巻き付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
	ブレードディスクが水たまりに入っています。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。
Cutting height blocked（刈高のブロック）	草などの異物が刈高調整の周囲またはブレードディスクとシャーシの間に巻き付いています。	ブレードディスクや刈高調整の周囲のベローズを点検して、草などの異物が詰まっていれば取り除きます。
Trapped（走行不能）	本製品は、複数の障害物の奥の狭い範囲で動けなくなっています。	本製品をその場所から動けなくしている障害物があるかどうかを確認してください。

メッセージ	原因	対応措置
No loop signal（ループ信号なし）	電源または低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED ステータスを確認します。チャージステーションに電力が供給されていない場合、LED は点灯しません。電源との接続を点検し、漏電遮断器が接続されていることを確認します。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源または低電圧ケーブルが損傷しています。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクターがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。損傷がある場合、コネクターを交換してください。*境界ワイヤーを取り付ける方法 20* ページを参照してください。
	境界ワイヤーが破損しています。	チャージステーションの LED ステータスを確認します。LED が境界ワイヤーの損傷を示している場合は、損傷箇所を確認してください。ループの損傷した部分を新品のループワイヤーに交換します。純正のカプラーを使用して、ループの両端を接合します。*ループワイヤーの損傷を発見 48* ページを参照してください。
	ECO モードが有効になっている状態で、本製品がチャージステーションの外で始動しようとしました。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。*開始 31* ページを参照してください。
	境界ワイヤーをアイランドとの間の経路で交差させています。	境界ワイヤーが正しく設置されていることを確認してください。*境界ワイヤーを取り付ける方法 20* ページを参照してください。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。*新規ループ信号 29* ページを参照してください。
	付近にある金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
	本製品が境界ワイヤーから遠すぎます。	作業エリアのすべての部分が境界ワイヤーから 35 m/115 フィート以内になるように設置を修正してください。
Wrong PIN code（PIN コードの誤り）	入力された PIN コードが間違っています。入力に 5 回失敗すると、本製品は一定時間ロックされます。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードを忘れた場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

メッセージ	原因	対応措置
Outside working area（作業エリア外です）	チャージステーションまでの境界ワイヤーの接続が交差しています。	境界ワイヤーがチャージステーションに正しく接続されているか点検してください。*境界ワイヤーを取り付ける方法 **20** ページ*を参照してください。
	境界ワイヤーが作業エリアの端に近すぎます。	境界ワイヤーが正しく設置されていることを確認してください。*境界ワイヤーを取り付ける方法 **20** ページ*を参照してください。
	境界ループのそばにある作業エリアの斜面の勾配が大きすぎます。	
	アイランド周囲の境界ワイヤーの敷設が適切ではありません。	
	付近にある金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
	本製品が、近くにある他の製品の設置場所からの信号を区別することが困難になっています。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。*新規ループ信号 **29** ページ*を参照してください。
Empty battery（バッテリーが空）	本製品がチャージステーションを見つけることができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。*ガイドワイヤーの敷設場所について **18** ページ*を参照してください。
		チャージステーションの探索方法について、設置時の設定を確認してください。*チャージステーションの探索 **26** ページ*を参照してください。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。*バッテリー **35** ページ*を参照してください。
	チャージステーションのアンテナに不具合があります。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。*チャージステーションの LED インジケータランプ **45** ページ*を参照してください。この問題は、認定サービス技術者による対応が必要です。
No drive（駆動がありません）	本製品が障害物に当たって停止したか、濡れた芝でホイールが動きません。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因を解消してください。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。
	作業エリア内に急な斜面があります。	勾配の最大許容値は 45 %です。これより急な斜面は隔離してください。*境界ワイヤーを斜面に設置する方法 **16** ページ*を参照してください。
	ガイドワイヤーが角度を付けて斜面に敷設されていません。	ガイドワイヤーを斜面に敷設する場合は、斜面全体で角度を付けて敷設する必要があります。*ガイドワイヤーの敷設場所について **18** ページ*を参照してください。
Wheel motor overloaded（ホイールモーターが過負荷になっています）	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。

メッセージ	原因	対応措置
Charging station blocked（チャージステーションブロック）	チャージストリップとコンタクトストリップの接触がおそらく不良で、本製品が何度も充電を試みました。	本製品をチャージステーションに置いて、チャージプレートと接点プレートの接触が良好であることを確認してください。
	障害物により、本製品の動作が妨害されています。	障害物を取り除いてください。
	チャージステーションが傾いているか曲がっています。	チャージステーションが十分に平坦で水平な場所に置かれていることを確認します。チャージステーションは傾いたり曲がったりしていてはいけません。
Stuck in charging station（ステーションにスタック）	本製品はベースプレート上でスリップしています。	ベースプレートをきれいにします。
	経路に障害物があるため、本製品がチャージステーションから出られなくなっています。	障害物を取り除いてください。
Upside down（上下反転）	本製品の傾きが大きすぎるか、ひっくり返っています。	本製品の上下を正しくしてください。
Mower tilted（芝刈機の傾き）	本製品の傾きが最大角度を超えています。	本製品を平らなエリアに移動してください。
Needs manual charging（手動充電が必要です）	本製品の動作モードが*セカンダリエリア*に設定されています。	本製品をチャージステーションに置きます。この動作は正常であり、特別な作業は必要ありません。
Next start hh:mm（次回始動時間 hh:mm）	スケジュール設定により本製品は動作しません。	スケジュール設定を変更してください。*Schedule（スケジュール）24 ページ*を参照してください。
	本製品の時計が合っていません。	時間を設定します。*Time & date（時刻 & 日付）28 ページ*を参照してください。
Lifted（持ち上がり）	本製品が障害物に当たったか動けないため、リフトセンサーが作動しています。	本製品を解放してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Collision sensor problem, front/rear（衝突センサー不具合、前／後）	製品本体がシャーシの周囲を自由に動くことができません。	シャーシと本体の間にある汚れや異物を取り除き、本体がシャーシの周囲を自由に動くことを確認してください。
	本製品が動けなくなっています。	本製品を解放して、原因を解決してください。
Wheel motor blocked right/left（右／左ホイールモーターブロック）	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	ホイールとホイールの周りをきれいにしてください。

メッセージ	原因	対応措置
Alarm！（注意！）Mower switched off（芝刈機のスイッチがオフ）	本製品のスイッチがオフになったため、アラームが作動しました。	芝刈機のセキュリティ設定を［*Security（セキュリティ）*］メニューで調整してください。*セキュリティ（Bluetooth® のみ）29 ページ*を参照してください。
Alarm！（注意！）Mower stopped（芝刈機の停止）	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	
Alarm！（注意！）芝刈機の持ち上がり	本製品が持ち上げられたため、アラームが作動しました。	
Alarm！（注意！）Mower tilted（芝刈機の傾き）	本製品が持ち上げられたため、アラームが作動しました。	
	本製品の傾きが最大角度を超えています。	本製品を平らなエリアに移動してください。
Electronic problem（電気系の問題）	電子関連またはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Loop sensor problem, front/rear（前／後ループセンサーの問題）		
Charging system problem（充電システムの問題）		
Tilt sensor problem（傾斜センサーの問題）		
Temporary problem（一時的な問題）		
Wheel drive problem, right/left（右／左ホイール駆動問題）		
Invalid device combination（無効な装置の組み合わせ）		
Ultrasonic problem（超音波の問題）		
GPS navigation problem（GPS ナビゲーションの問題）		
Temporary battery problem（バッテリーの一時的な問題）		
Faulty mix of batteries（バッテリーの誤った組み合わせ）		

メッセージ	原因	対応措置
Battery problem（バッテリーの問題）	バッテリー関連またはファームウェア関連の一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	バッテリーのタイプが間違っています。	メーカーが推奨する純正バッテリーのみを使用してください。
Battery temperature outside limits（バッテリー温度が範囲外）	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
Charging current too high（高すぎる充電電流）	電源装置が間違っているか、不具合があります。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Connectivity problem（接続の問題）	本製品の接続回路基板に問題がある可能性があります。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

6.3 情報メッセージ

次の表は、Automower® Connect アプリの *Messages（メッセージ）*メニューに表示される情報メッセージをまとめたものです。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

メッセージ	原因	対応措置
Low battery（低バッテリー）	本製品がチャージステーションを見つけることができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。*ガイドワイヤーの敷設場所について 18 ページ*を参照してください。
		設置の設定でチャージステーションの探索方法が正しいことを確認してください。*バッテリー 35 ページ*を参照してください。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。*バッテリー 35 ページ*を参照してください。
	チャージステーションのアンテナに不具合があります。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。*チャージステーションの LED インジケータランプ 45 ページ*を参照してください。この問題は、認定サービス技術者による対応が必要です。
Settings restored（設定が復元されました）	*Reset all user settings（全ユーザー設定リセット）*が実行されたことを確認しています。	これは正常です。特別な操作は必要ありません。
Limited cutting height（刈高の制限）	刈高調整を始動できません。	刈高調整を点検し、芝や異物を取り除いてください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
Unexpected cutting height adj（予期しない刈高調整）		
Limited cutting height range（刈高範囲の制限）		
Cutting height problem（刈高の問題）		
Cutting height blocked（刈高のブロック）		
Cutting system imbalance（カッティングシステムのアンバランス）	本製品がブレードディスクの振動を検出しました。	ブレードおよびネジが損傷または摩耗していないことを確認します。 すべてのブレードが正しく取り付けられていることを確認します。 3 ヶ所のブレード位置のいずれかに、2 枚のブレードが取り付けられていないか確認します。
Slope too steep（急すぎる斜面）	斜面が急すぎるため、本製品が停止しました。	境界ワイヤーの設置を変更して、この急斜面を作業エリアから除きます。*境界ワイヤーを取り付ける方法 20 ページ*を参照してください。

メッセージ	原因	対応措置
Guide 1 not found（ガイド 1 不明） *Guide 2 not found（ガイド 2 不明）* *Guide 3 not found（ガイド 3 不明）*	ガイドワイヤーがチャージステーションに接続していません。	ガイドワイヤーのコネクターがチャージステーションにしっかりと取り付けられているか点検してください。*ガイドワイヤーを取り付ける方法 21 ページ*を参照してください。
	ガイドワイヤーが破損しています。	どこが損傷しているか探してください。純正のカプラーを使用して、ガイドワイヤーの損傷している部分を新品のループワイヤーと接合して交換してください。
	ガイドワイヤーが境界ループに接続されていません。	ガイドワイヤーが境界ループに正しく接続されているか点検してください。*ガイドワイヤーを取り付ける方法 21 ページ*を参照してください。
Guide calibration failed（ガイド補正失敗）	本製品がガイドワイヤーの補正に失敗しました。	ガイドワイヤーが取扱説明書どおりに敷設されていることを確認してください。*ガイドワイヤーを取り付ける方法 21 ページ*を参照してください。次に本製品がチャージステーションを離れる際に、新しいガイドキャリブレーションが実行されます。
Guide calibration accomplished（ガイド補正完了）	本製品がガイドワイヤーの補正に成功しました。	特別な操作は必要ありません。
GPS navigation problem（GPS ナビゲーションの問題）	GPS アシストナビゲーション装置に問題があります。	このメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
Weak GPS signal（GPS 信号が微弱）	作業エリアの大部分で空が遮られています。	可能であれば、GPS 信号を妨げている障害物を取り除きます。
		GPS ナビゲーション機能を無効にし、芝生範囲機能を使用してください。*芝生範囲 26 ページ*を参照してください。
Difficult finding home（ホームが見つかりません）	本製品は、境界ワイヤーを数回追従しましたが、チャージステーションを発見できませんでした。	正しく設置されていません。*Installation（設置）14 ページ*を参照してください。
		境界ワイヤーの経路幅設定が適切ではありません。*経路幅 27 ページ*を参照してください。
		本製品は、メインエリア設定で、セカンダリエリア内で始動しました。
Temporary problem with the server.（サーバーの一時的な問題です。）	もう一度やり直してください。	このメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
Connection problems（接続問題）	Automower™ Connect モジュールの問題	本製品を再始動してください。接続に問題がある場合は、本製品*（登録した芝刈機）*のペアリングを解除して、もう一度ペアリングします。問題が解決しない場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
Connection settings restored（接続設定復元）	ワイヤレス接続の設定が、エラーのため、元に戻りました。	設定を確認し、必要に応じて修正してください。

メッセージ	原因	対応措置
SIM card requires PIN（SIM カードが PIN 要求）	SIM カードはロック解除されている必要があります。	正しい SIM PIN が芝刈機メニュー（Network（ネットワーク） > SIM card（シムカード））に入力されていることを確認してください。このメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
SIM card locked（SIM カードがロックされています）	SIM カードを交換する必要があります。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
SIM card not found（SIM カードが見つかりません）	Automower™ Connect を使用するには、芝刈機に SIM カードを挿入する必要があります。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
Geofence problem（ジオフェンスの問題）	GPS システムとの通信が不良（またはなし）のため、ジオフェンスが機能していません。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

6.4 チャージステーションの LED インジケータランプ

設置が完全に機能している場合、チャージステーションのインジケータランプは緑色で点灯または点滅している必要があります。緑以外の色が表示される場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従ってください。

www.husqvarna.com で詳しいヘルプを参照できます。さらに支援が必要な場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

ランプ	原因	対応措置
緑色の点灯	良好な信号	特別な操作は必要ありません。
緑色の点滅	信号は良好であり、*ECO モード*が有効になっています。	特別な操作は必要ありません。*ECO モード*の詳細については、*ECO mode（ECO モード）25 ページ*を参照してください。
青色の点滅	境界ループがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクターがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。 *境界ワイヤーを取り付ける方法 20 ページ*を参照してください。
	境界ループが破損しています。	どこが損傷しているか探してください。純正のカプラーを使用して、ループの損傷しているセクションを新品のループワイヤーで接合して交換してください。
赤色の点滅	チャージステーションのアンテナが遮断されています。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。
赤色の点灯	回路基板の不具合、またはチャージステーションに不適切な電源が接続されています。不具合は必ずサービス技術者が修正してください。	最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

6.5 本製品の LED インジケータランプ

本製品の上部にある LED インジケータランプは次のように現在の状況を示します。

ランプ	原因	対応措置
緑色の点灯	本製品は、芝刈り中か、チャージステーションを離れています。	特別な操作は必要ありません。
青色の点灯	本製品は、一時停止または駐車中、またはチャージステーションを探索中です。	特別な操作は必要ありません。
黄色の点灯	［**STOP**］ボタンが押されました。	本製品の上部にある［**START**］ボタンを押して、本製品を再び始動します。
赤色の点灯	エラーが発生し、本製品が停止しています。	［**STOP**］ボタンを押してエラーをクリアし、本製品の上部にある［**START**］ボタンを押して本製品を起動します。
黄色の点滅	本製品に PIN コードの入力が必要です。	本製品を始動するには、Automower® Connect アプリで PIN コードを確認する必要があります。

www.husqvarna.com で詳しいヘルプを参照できます。さらに支援が必要な場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

6.6 症状

本製品が期待通りに作動しない場合は、下の症状ガイドに従ってください。

www.husqvarna.com には FAQ（よく尋ねられる質問集）があり、多くの一般的な質問に対する詳細な回答が記載されています。不具合の原因が分からない場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

症状	原因	対応措置
本製品がうまくドッキングしない。	境界ワイヤーがチャージステーションからまっすぐ敷設されておらず、十分な距離がありません。	チャージステーションが適切に設置されていることを確認してください。参照：*チャージステーションを設置する方法 19 ページ*
	チャージステーションが斜面上にあります。	チャージステーションを水平な表面に設置してください。*チャージステーションの設置場所について 14* ページを参照してください。
本製品が指定していない時間に作動する。	本製品の時計を設定する必要があります。	時計を設定します。*Time & date（時刻 & 日付）28* ページを参照してください。
	芝刈りの開始時刻と終了時刻が正しくない。	芝刈の開始時刻と終了時刻の設定をリセットしてください。*Schedule（スケジュール）24* ページを参照してください。
本製品が振動する。	ブレードが損傷すると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。*ブレードの交換方法 35* ページを参照してください。
	同じ位置にあるブレードが多すぎると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	各ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	異なるバージョン（厚さ）の Husqvarna ブレードが使用されています。	ブレードのバージョンが異なっていないかを調べてください。
走行するが、ブレードディスクが回転していない。	本製品は、チャージステーションを探しています。	特別な操作は必要ありません。本製品がチャージステーションを探しているときは、ブレードディスクは回転しません。
1 回の充電で持続する本製品の芝刈り時間が通常よりも短い。	草などの異物がブレードディスクを妨害しています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。*シャーシおよびブレードディスク 34* ページを参照してください。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。*バッテリー 35* ページを参照してください。
芝刈時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。*バッテリー 35* ページを参照してください。
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	スケジュールの設定のため、または *[Park until further notice（さらなる通知があるまで駐車）]* がアプリで選択されているために、本製品が駐車しています。	アプリを開いてスケジュール設定を編集するか、*[Dashboard（ダッシュボード）]* に移動して、本製品を始動します。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。

症状	原因	対応措置
本製品が、多くの場合、円形状、またはらせん状に移動する。	らせん状の芝刈りは、本製品の自然な動きの一部です。	スパイラルカットの強度を調整します。 必要に応じて、この機能を無効にすることができます。 *Spiral cutting（スパイラルカット）25* ページを参照してください。
本製品が方向転換し、数分間、狭いエリアに留まります。	これは本製品の正常な動作です。本製品にはGPS アシストナビゲーションが搭載されており、均等な芝刈結果が得られるようになっています。	特別な操作は必要ありません。
芝刈りの結果が不均一。	1 日あたりの本製品の作動時間が少なすぎます。	芝刈り時間を長くします。*Schedule（スケジュール）24* ページを参照してください。
		*Weather timer（天候タイマー）*は、実際以上に芝が刈り取られていると感知しています。*Weather timer（天候タイマー）*の強度レベルを上げます。これで問題が解決しない場合は、*Weather timer（天候タイマー）*を無効にします。
	作業エリアの配置に関して、*Lawn coverage（芝生範囲）*機能が適切に設定されません。**注記 :** GPS アシストナビゲーションが有効になっている場合は該当しません。	*Lawn coverage（芝生範囲）*機能の設定を確認してください。芝生範囲については、*芝生範囲 26* ページを参照してください。
	作業エリアの形状により、本製品がすべてのリモートエリアへの経路を見つけられるように *[Area 1-5（エリア 1～5）]* を使用する必要があります。**注記 :** GPS アシストナビゲーションが有効になっている場合は該当しません。	*[Area 1-5（エリア 1～5）]* を使用して、本製品がリモートエリアに移動できるようにしてください。*芝生範囲 26* ページを参照してください。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアを限定するか、作業時間を延長してください。*スケジュール設定の計算 24* ページを参照してください。
	刃先が鈍っています。	すべてのブレードを交換します。 *ブレードの交換 35* ページを参照してください。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を上げてから徐々に下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が蓄積しています。	ブレードディスクがスムーズに、容易に回転することを確認してください。そうでない場合は、ブレードディスクのネジを緩めて、草や異物を取り除いてください。*シャーシおよびブレードディスク 34* ページを参照してください。

6.7 ループワイヤーの損傷を発見

ループワイヤーの損傷は、通常ショベルを使用した庭仕事など、意図せずにワイヤーを物理的に損傷するために起こります。また、霜柱の立つ国では、尖った石が地中で移動して、ワイヤーを損傷することがあります。敷設時にワイヤーを張り過ぎた場合も、損傷することがあります。

設置直後に芝を短く刈り込み過ぎた場合も、ワイヤーの絶縁体を損傷することがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。

注意 : 設置後の最初の数週間は必ず最大の刈高を選択し、それから 2 週間ごとに一度に 1 段階ずつ高さを下げて、希望の刈高に達するようにします。

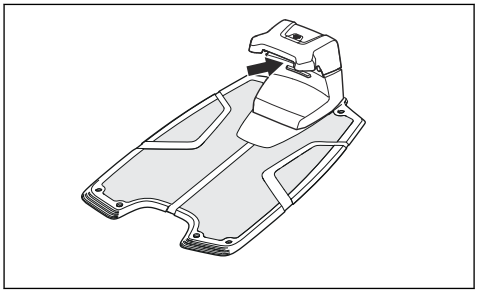
ループワイヤーの接合不良により、接合を行ってから数週間で作業が中断することがあります。接合不良は、例えば、カプラーをプライヤーで十分に圧着していない場合や、純正カプラーより品質が劣るカプラーを使用した場合に発生することがあります。

注記： 他のトラブルシューティングを行う前に、まずすべての接合を点検してください。

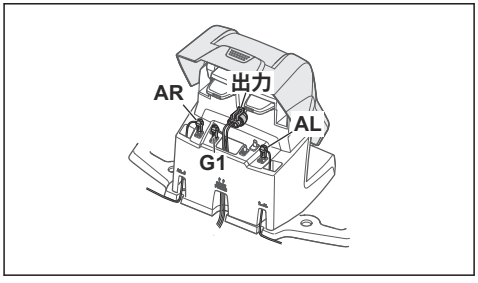
ワイヤーの損傷を見つけるには、非常に短いワイヤーのセクションだけが残るまで、損傷がありそうなループの間隔を段階的に半分にしていきます。

*ECO モード*が有効な場合は、以下の方法は使用できません。最初に必ず *ECO モード*をオフにしてください。*ECO mode（ECO モード）25* ページを参照してください。

1. チャージステーションのインジケータランプが青色で点滅していることを確認します。この場合、境界ループの破損を示しています。*チャージステーションの LED インジケータランプ 45* ページを参照してください。



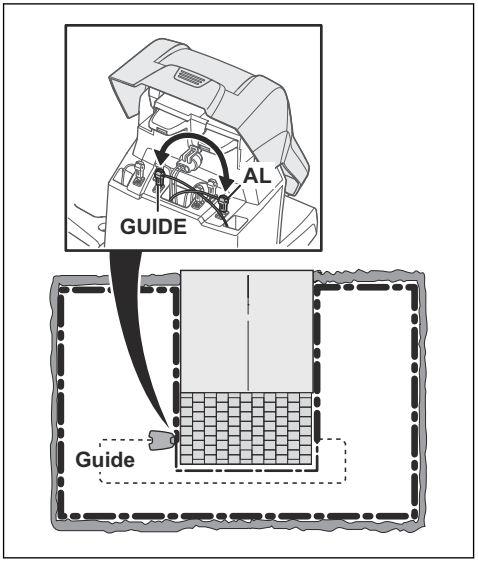
2. チャージステーションまでの境界ワイヤーが正しく接続されており、損傷していないことを確認します。チャージステーションのインジケータランプがまだ青色に点滅しているか確認してください。



3. チャージステーションでガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を切り替えます。

   AL および G1 の接続を切り替えて開始します。一部のモデルには、追加のガイドワイヤーがあります。これらのワイヤーについても同じ手順に従うことができます。

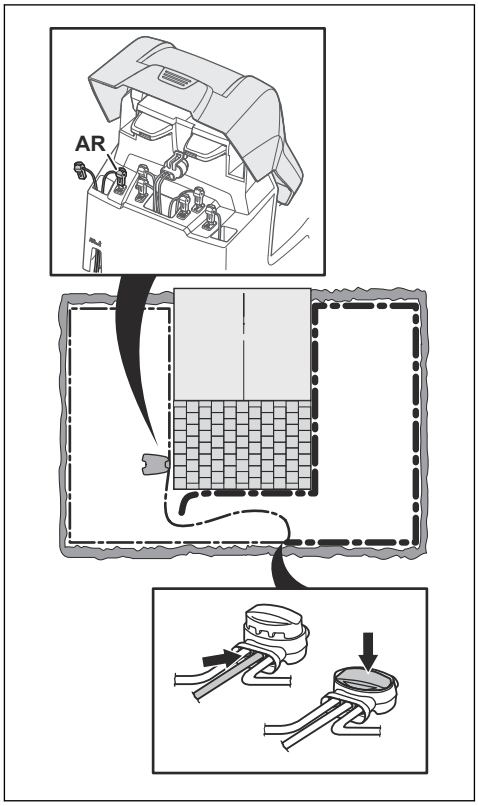
   インジケータランプが緑色に点灯する場合は、境界ワイヤー上の AL とガイドワイヤーが境界ワイヤーに接続されている地点の間（図の黒い太線）のどこかで破損しています。



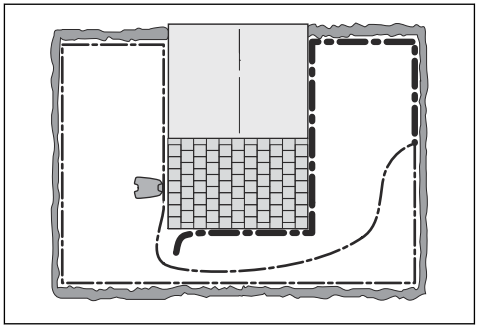
この不具合を修正するには、境界ワイヤー、コネクター、およびカプラーが必要です。

a) 問題があると思われる境界ワイヤーが短い場合、最も簡単な方法は AL と、ガイドワイヤーと境界ワイヤー（太い黒い線）が接続する地点との間にあるすべての境界ワイヤーを交換することです。

b) 問題があると思われる境界ワイヤーが長い場合（太い黒い線）、次の手順を実行します。AL と G1 を元の位置に戻します。AR の接続を外します。新品のループワイヤーを AR に接続します。この新品のループワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。

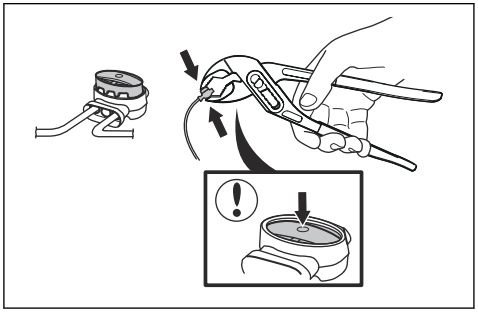


インジケータランプが緑色になったら、接続を解除した端から新しいワイヤーを接続した地点の間（下の図の黒い太線）のどこかでワイヤーが破損しています。 この場合は、接続解除した端に新しいワイヤーを近づけて（破損が疑われるワイヤーセクションのほぼ中央まで）、インジケータランプが緑色になるか再度確認します。



緑色点灯と青色点滅が切り替わるワイヤーのセクションが非常に短くなるまで、この作業を続けます。以下の手順 5 の指示に従います。

4. 上記の手順 3 でインジケータランプが青色で点滅したままの場合: AL と G1 を元の位置に戻します。次に AR と G1 を切り替えます。インジケータランプが緑色で点灯している場合、AL の接続を外して、新しい境界ワイヤーを AL に接続します。この新品のワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。 上記の 3a) および 3b) と同じ手順に従います。
5. 破損を特定できたら、破損しているセクションを新品のワイヤーに交換します。常に純正のカプラーをお使いください。



7 搬送、保管、廃棄

7.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- 該当するすべての国内規制に従ってください。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

7.2 保管

- 本製品を完全に充電します。*バッテリーの充電方法 33* ページを参照してください。
- **メインスイッチ**で本製品の接続を解除します。*本製品のスイッチをオフにする方法 32* ページを参照してください。
- 製品を清掃します。*製品の清掃 34* ページを参照してください。
- 本製品は、乾燥した霜の降りない場所に保管してください。
- 保管中は、すべてのホイールを水平な場所に置いたままにするか、または Husqvarna ウォールハンガーを使用してください。
- チャージステーションを屋内に置いておく場合は、チャージステーションから電源とすべてのコネクターを取り外します。各コネクターワイヤーの端をグリースの入ったコンテナに入れます。

注記： チャージステーションを屋外に置いておく場合は、電源とコネクターを外さないでください。

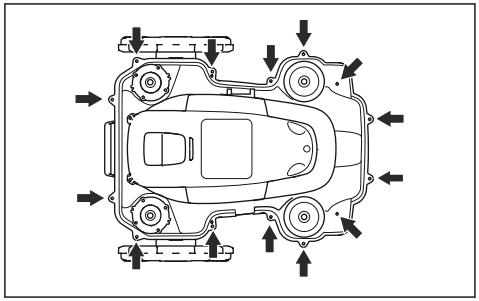
7.3 廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- バッテリーの取り外し方法については、*バッテリーの取り外し方法 51* ページを参照してください。

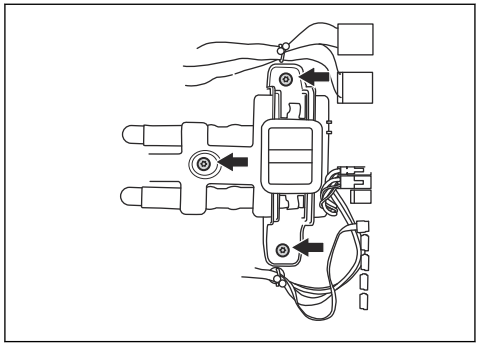
7.3.1 バッテリーの取り外し方法

注意： バッテリーは、製品を廃棄するときにのみ取り外してください。保証シールを外すと、Husqvarna の保証は適用されなくなります。

1. **メインスイッチ**で本製品の接続を解除します。*本製品のスイッチをオフにする方法 32* ページを参照してください。
2. 充電ケーブルのグロメットを製品の正面に引き出し、コネクターを慎重に取り外します。
3. カバーを持ち上げます。角を 1 つずつ持ち上げてください。
4. 14 本のネジをトルクス 20 で外します。



5. シャーシ上部の後端を持ち上げます。
6. メイン回路基板からケーブルを取り外します。
7. シャーシの上部を取り外します。
8. バッテリーを固定している 3 本のネジをトルクス 20 で外します。



9. メイン回路基板からバッテリーの接続を取り外します。
10. バッテリーカバーを開いて、バッテリーを取り外します。

8 主要諸元

8.1 主要諸元

寸法	Automower® 520	Automower® 550
長さ（cm／インチ）	72/28.3	72/28.3
幅（cm／インチ）	56/22	56/22
高さ（cm／インチ）	31/12	31/12
質量、kg／ポンド	13.3/29.3	13.5/29.8

電気系統	Automower® 520	Automower® 550
リチウムイオンバッテリー 18V、4.0 Ah、品番	593 11 41-02、593 11 42-01、593 11 41-04、580 68 33-03	
リチウムイオンバッテリー 18.25V、4.0 Ah、品番	593 11 41-03、593 11 42-02、580 68 33-04	
リチウムイオンバッテリー 18V、5.0 Ah、品番		593 11 84-01、593 11 84-03、588 14 64-02（2 個）5.0 Ah／バッテリー
リチウムイオンバッテリー 18V、4.9 Ah、品番		593 11 84-02、588 14 64-03（2 個）4.9 Ah／バッテリー
電源（28V DC）、V AC	100～240	100～240
低電圧ケーブル長、m／フィート	10/33	10/33
最大使用時の平均エネルギー消費量	17 kWh／月 作業面積 2200 m^2/0.55 エーカー	23 kWh／月 作業面積 5000 m^2/1.25 エーカー
充電電流、A DC	2.2	7
電源装置のタイプ [6]	ADP-60JR XX、FW7438/28/D/XX/Y	ADP-200JR XX、ADP-200MR XX、FW7458/28/D/XX/Y
平均芝刈り時間、分	75	270
平均充電時間、分	50	60

境界ワイヤーアンテナ	Automower® 520	Automower® 550
動作周波数帯、Hz	100-80000	100-80000
最大磁界 [7]、dBuA/m	82	82
最大無線周波電力 [8]、mW @60m	<25	<25

[6] XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。
[7] EN 303 447 に基づいて測定。
[8] 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

音響データ [9]	Automower® 520	Automower® 550
騒音排出の不確定性 K_{WA}（dB （A)）	1	1
計測音響騒音レベル、dB（A）	58	60
保証音響騒音レベル、dB（A）	59	61
使用者の耳における音圧騒音レベル [10]、dB（A）	47	49

芝刈り	Automower® 520	Automower® 550
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード（3 枚）	
カッティングモーターの最大回転数、r/min	2300	2300
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	30	35
刈高、cm／インチ	2～6/0.8～2.4	2～6/0.8～2.4
刈幅、cm／インチ	24/9.4	24/9.4
最狭の通過可能経路、cm／インチ	60/24	60/24
作業エリアの最大角度、%	45	45
境界ワイヤーの最大斜度、%	15	15
境界ワイヤーの最大長、m／フィート	800/2600	800/2600
最大長のガイドループ [11]、m／フィート	400/1300	400/1300
境界ワイヤーの最大距離、m／フィート	35/115	35/115
作業能力、m^2／エーカー +/- 20%	2200/0.55	5000/1.25

IP 分類	Automower® 520	Automower® 550
ロボット芝刈機	IPX4	IPX4
チャージステーション	IPX1	IPX1
電源	IP44	IP44

対応周波数帯	
Bluetooth® 周波数帯	2400.0～2483.5 MHz
Automower® Connect 2G	GSM 850 MHz、E-GSM 900 MHz、DCS 1800 MHz、PCS 1900 MHz
Automower® Connect 3G	バンド 19（800 MHz）、バンド 5（850 MHz）、バンド 8（900 MHz）、バンド 2（1900 MHz）、バンド 1（2100 MHz)
Automower® Connect 4G	バンド 12（700 MHz）、バンド 17（700 MHz）、 バンド 28（700 MHz）、バンド 13（700 MHz）、バンド 20（800 MHz）、バンド 26（850 MHz）、バンド 5（850 MHz）、バンド 19（850 MHz）、バンド 8（900 MHz）、バンド 4（1700 MHz）、バンド 3（1800 MHz）、バンド 2（1900 MHz）、バンド 25（1900 MHz）、バンド 1（2100 MHz）、バンド 39（1900 MHz）

[9] 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。
[10] 音圧騒音の不確実性 K_{pA}、2～4 dB（A）。
[11] ガイドループとは、チャージワイヤーに適切に接続されたガイドワイヤーに連結した境界ワイヤーの一部とガイドワイヤーによって形成されるループです。

出力クラス		
Bluetooth® 出力電力	8 dBm	
Automower® Connect 2G	出力クラス 4（GSM/E-GSM）	33 dBm
	出力クラス 1（DCS/PCS）	30 dBm
	出力クラス E2（GSM/E-GSM）	27 dBm
	出力クラス E2（DCS/PCS）	26 dBm
Automower® Connect 3G	出力クラス 3	24 dBm
Automower® Connect 4G	出力クラス 3	23 dBm

リモコン、無線送信機、ヒアリングループ、地中の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性は完全には保証されません。

本製品は英国またはチェコ共和国で製造されています。銘板の情報を参照してください。*製品の概要 4 ページを参照してください。*

8.2 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは、*Bluetooth SIG, inc.* が所有する登録商標です。当該マークの使用について、Husqvarna は、ライセンスの許諾を受けています。

9 保証

9.1 保証条件

Husqvarna® の保証対象は、購入日より 2 年間の本製品の機能です。この保証は、材質または製造上の不具合に関係する重大な不具合を対象とします。保証期間内では、以下の条件を満たす場合、弊社は製品を交換するか、無料で修理します。

- 本製品とチャージステーションがこの取扱説明書の指示に従った方法でのみ使用されている。この製造元の保証は、代理店／販売店に対する保証の権利には影響しません。
- エンドユーザーまたは認証されていない第三者は製品を修理してはなりません。

保証に含まれない故障の例：

- 高圧洗浄機を使用したり、大雨で水たまりができて水浸しになったりする場合など、浸水による損傷。
- 雷による損傷。
- 不適切なバッテリー保管またはバッテリーの取り扱いによって起こった損傷。
- Husqvarna の純正バッテリー以外のバッテリーを使用したことによる損傷。
- ブレードや設置材料などの Husqvarna 純正の予備部品およびアクセサリーを使用しなかったために発生した損傷。
- ループワイヤーの損傷。
- 製品または電源に対する不認可の変更または改造による損傷。

ブレードとホイールは消耗品と見なされ、保証対象ではありません。

Husqvarna 製品にエラーが発生した場合、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡して指示を受けてください。最寄りの Husqvarna 販売店に連絡する際は、領収書と本製品の製造番号を用意してください。

10 日本市場に適用

10.1 コンプライアンス要件

202-SME081（Automower™ Connect モジュール）

202-SMG024（Bluetooth® モジュール）

Bluetooth モジュールはシャーシ上部の HMI ボード（PCBA）にあります。これは認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

本ロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは、日本の電波法に定められた規定に合致しています。 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。





AUTOMOWER® はハスクバーナABが所有する商標です。
著作権© 2021 HUSQVARNA。無断複写·転載を禁じます。

www.husqvarna.com

取扱説明書原本

1142659-79

2021-01-18